



【ウィンターコンサートは  
大成功でした！】

# 山小屋便り

## 新春号

### January 目次 2026

2026年1月9日 発行

|     |   |      |
|-----|---|------|
| 0 2 | ウィンターコンサート、大成功 !!<br>—— 理解しあう仲間と、ショーを作っていく —— | ゆうな  |
| 0 8 | ウィンターコンサートを終えて                                | こここの |
| 1 3 | 「K I N N H F」は幕を開けたばかり                        | ゆうは  |
| 2 1 | よしぇちゃんの門出                                     | なお   |
| 2 3 | ゲストをお迎えして、お餅つき大会 !!                           | のりこ  |
| 2 6 | 門松作りの1日                                       | こここの |
| 2 8 | 12品目のおせち作り ! 白熱のきんとん練り                        | ほし   |
| 3 0 | さあ、仲間と一緒に全力ステージ !!<br>N H F 紅白歌合戦             | かのん  |
| 3 7 | 新しい1年、今の幸せを胸に刻んで<br>—— 2026年の元日 ——            | ゆうは  |
| 3 9 | 困ったコマ回し!? 跳ねて喜んだ羽根つき !!                       | うたな  |
| 4 2 | 獅子舞がやってきた !                                   | よしみ  |
| 4 3 | 「今」に向き合って書く<br>—— 書き初めの澄んだ時間 ——               | そな   |
| 4 4 | 初雪・真剣 百人一首                                    | ほのか  |
| 4 6 | 新春ライブ、特別な夜                                    | みゆ   |
| 4 8 | ちぎり絵で自画像を                                     | つばめ  |
| 5 0 | 豆つかみ大会の開催・<br>ミニ山田君登場 ! 福笑い笑点                 | りな   |
| 5 2 | ミラクル・チャレンジ!<br>新春セブンブリッジ大会                    | みつき  |

# ウインターコンサート、大成功!!

理解しあう仲間と、ショーを作つていく――

ゆうな

本当に本当に、胸がいっぱいになる、三時間半でした。そして、心から、楽しかったです。

二〇二五年十二月二十一日。なのはなファミリーウィンターコンサートを、勝央文化ホールで行な

いました。

今回、私は初めて役者という立場で、コンサートに出させても



勝央文化ホールにてウインターコンサートを開催しました。愛情や幸せとは何か、私たちが生きていく意味、音楽劇を通して一人ひとりの胸に理解を深めながら、全力で表現したコンサート。たくさんのお客様から拍手を頂くことができました。

人生で初めて、舞台でセリフを言うということ。多くのお客様を前にして、自分を表現すること。舞台の上でスポットライトを浴びて、思いっきり、自分の口から自分の言葉を言う。その役になり切って、その役として、ステージに立つこと。すべてが私にどうして初めてでした。

演劇なんてやつたことがない。何もわからない。そこからスターツしました。正直、不安でいっぱいでした。自分が演劇ができる自信はありませんでした。舞台に立つこと、なのはなのコンサートで役者としてステージに立つ自信がありませんでした。でも、私は独りぼっちじゃありませんでした。一人でコンサートを作つていくん

分のようを感じました。お父さんお母さんが、それは一瞬であつて、本番まで練習するその過程が大切なんだ。その過程の、残津みたいなものが、今日なんだ」と、おっしゃっていました。その言葉にぐつと、胸を刺されるものがありました。

「おつしやつっていました。その言葉にぐつと、胸を刺されるものがありました。

「ゆめの」として



コンサート練習。毎日毎日、演劇練習を積み重ねました。お父さんや、お母ちゃんが演劇練習を見

てくださって、たくさん教えてくださいました。その中でものすごく学ぶものがありました。ただひくべきつと一人ではここまで来ることは決してできなかつたと思います。一緒に立ち向かってくれる仲間がいる。正しいほうへと導いてくださる人たちがいる。そして、大きな家族があつて、手を取り合つて、一体となれる人たちがいるからこそ、私はその中で、お父さんお母さんが導いてくれる道へ

(次ページへ続く)



演劇練習をする中で、自分の演じる「ゆめの」が、どんな子なのか、どういう考え方をもつているのかが、はつきり見えてきました。



「やうなちゃんは、本当はまじめに生きたいんだよ。なのはなにいるみんなもそう。だから摂食障害間がすぐそばにいました。あゆんなときは、手を取ってくれる仲ちゃんが、

■演劇練習の日々

たすらに演技をしていても、お客様には何も伝わらない。自分がどうしたいの？　お客様に伝えたいの？　この脚本に感動してる？　何をどこを、どう伝えたいのか。気持ちがないと何も伝わらないんだ。すべてのセリフに感情を持つ。そして、舞台の上で常に輝き続けること。どんな表情も、

A photograph of three young women standing on a stage. They are all wearing traditional Japanese kimonos. The woman on the left is wearing a red and black patterned sweater over a white blouse and black pants. The woman in the center is wearing a white blouse, a black scarf, and a patterned skirt. The woman on the right is wearing a dark green and white patterned sweater over a white blouse and white pants. They are all smiling and looking at each other. In the background, there is a large, brown, textured backdrop with a circular emblem featuring a stylized figure. A sign that reads "KINNHEI" is mounted on the backdrop.



と一緒になると、自分もいつの間にか、ものすごく演劇が大好きになつていきました。

線。ぐつと自分の胸にくるものが  
ありました。おちゃんの力強い  
演技。そして優しい演技。すべて  
が自分の心に響きました。お  
ちゃんが一緒に演技をしてくれた  
からこそ、今の自分がある。お父  
きなんだ、と。そんなおちゃん

ごとにする

なに出会って、生きることができた、ここまで来ることができた。その過程を、舞台で表現するんだ。って。まっすぐに進んでいくって、強く思いました。

んな時もお客様に伝えることを忘れない。私と比べ物にならないくらい、舞台の上で輝いていました。手相見妖怪として。でも、そんななおちゃんと一緒に演劇をしていると、一緒に舞台に立つてみると、その姿から、沢山のことを教えてもらいました。そして、わたしもなおちゃんのように表現するんだ、という強い気持ちをもつていました。



(次ページへ続く)

「これからはちゃんと生きていく  
分の、

(前ページからの続き)

んでいく、そんな家族に囲まれていたからこそ、私はここまで来ることができました。私はコンサートを通して、改めて、なのはなにん、そして大切な家族に出会えたことが、どれほど幸せなことが、心から実感しました。

実際に舞台に立つて、客席にいるお客さんに表現することは、本当に楽しかったです。もちろん緊張もしましたが、それ以上に、みんなをたくさん感じられて、胸があふれました。もちろん緊張もしましたが、それ以上に、みんなをたくさん感じられて、胸があふれました。

### ■伝えるために

初めの曲、『ボヘミアン・ラプ



めポーズをした時、拍手がありました。ねこが帰ってきた時の反応も、ゆめの強いセリフも、店員に見つかった時の動きも、たくさん練習してきたシーン。私ひとりじゃない。一緒に来てくれる仲間がいる。三人がやつと一体になるシーンでお客さんから拍手をいたしました。自分が伝えるものがお客様に届く、それがどれほどうれしいものかが、ものすごくよくわかりました。



た。自分たちの伝えるものがお客様に届く、それがどれほどうれしいものかが、ものすごくよくわかりました。

した。ゆめの、じゅり、ちのの三

ソディー』。  
お客様に、「これから、なのはなのコンサートが始まりますよ。最後まで楽しんでいってくださいね」という気持ちを表現すること。

誰一人として欠けてはいけない。大きな円を作るのも、隊列移動をするのも、誰一人、欠けてはいけないし、違う位置に一人でも立ててしまつたら、違つたものになってしまいます。一人ひとりの存在がものすごく大きい。

そう聞いたときにリトル・トリリーは、

「おじいちゃんが、山の木のこと

を、全部、知つててからだよ」と伝える。リトル・トリリーが大

好きでで、ずっとあこがれていました。

コンサート直前まで場ミリを確

認しました。本番、一人ひとりが

そのことを意識している、そして

一体になろうとしている。それを

ものすごく感じました。

そして、そもそもがリフト

で上がった時、大きな歓声と拍手

がありました。その空気だけで本

当に涙があふれそうになりました。



幸せは過去に向かつてしか使わ

ない言葉。そして、理解し合うこ

とが愛情なんだ。理解し合う日々

のシーン。

そして、「I KIN YE」

のシーン。

（次ページへ続く）

(前ページからの続き)

を一日一日積み重ねることが、幸  
せになることだ。



きなシーンでした。なのにはなに来て教えてもらつたこと。それがいっぱい詰まつてあるシーンでした。お客様から大きな拍手があつて、お客様にちゃんと伝わつたんだって、心から感じました。理解し合うことがどれほど大切なことか。今は人と人が向き合えていない、共感できていない、

■みんなで繋いだ



詰めてもらいたときの、癒しかよ  
みがえってきて、そのことが本当  
にありがたくて、幸せなことだつ  
て強く実感しました。

ト。 未来世界の前の『バッド・ハビツ

あう、それが本当の愛情なんだ。  
本当の幸せなんだって、お客様  
に強く伝えることができて、自分  
たちの販売業界に少しでもうれ

当日の午前中まで、出はけの練習をしました。

A photograph of a stage performance. In the foreground, a man wearing a green t-shirt and blue pants is captured in motion, possibly dancing or running. Behind him, a band is performing on stage, with one member holding a large green flag. The stage has a wooden floor and a backdrop featuring a stylized red and yellow design. To the right, a large crowd of spectators is visible, some holding up phones to take pictures. The overall atmosphere appears to be a festive or celebratory event.

「ハード」で出てきてくれる時、いつも以上に、「大丈夫だよ」「そんなに頑張らなくていいんだよ」という気持ちが伝わってくる感覚があつて、ゆめのの傷や、辛さを癒してくれるよう感じました。そ

お父さんから タンスでも、  
ラスでも演劇でも、楽器演奏でも、  
教えてもらうことがあります。そ  
れは、何よりも気持ちが一番大切  
だ、ということ。どんなにうまく  
ても気持ちがなかつたら何も伝わ



（前ページからの続き）

を一日一日積み重ねることが、幸せになることだ。

そのシーンは私も、本当に大好きなシーンでした。なのはなに来て教えてもらつたこと。それがいっぱい詰まつていてるシーンでした。お客さんから大きな拍手があつて、お客さんにちゃんと伝わつたんだって、心から感じました。理解し合うことがどれほど大切なことか。今は人と人との向き合えていない、共感できていない、分かり合えていないことばかり。誰もが理解し合う、共感しあう、それが本当の愛情なんだ。

本当の幸せなんだって、お客さんに強く伝えることができて、自分たちの役割が果たされたような、

当日の午前中まで、出はけの練習をしました。

今、どのようなシーンをやつていいのか。そのシーンを思つて、移り変わる次のシーンはどんな色か。一人ひとりの気持ちがないと、お客さんには伝わらない。

自分が、「ちゃんと生きられる劇」と劇をつないでくれるダンサーのみんなが、そしてアンサンブルのみんなが、そのシーンの人になり切つたり、そのシーンの最後の言葉を大切にして、その言葉を思つて出てきてくれて、それがものすごく舞台袖から見ていると伝わってきて。そんなダンスと、劇が、重なつて、よりお客さん

なのはなの舞台に立つみんなは、同じことを思つて、強くそういう意思をもつて立つています。だからこそ、深く届くものが、やっている私たちにも、見ておるお客様にもあるんだって感じます。

舞台はみんなでつくるもの。口サートの前日に、お父さんお母さんがそう言つていました。

らない。何が言いたいのかわから  
ない。へたくそでも、できなくて  
も、お客様にこれを伝えたい、  
ここを強く言いたい、そういう強  
い気持ちがあつたら、お客様に  
深く届くんだ、と。

いでくれるダンスがあるから、演技が成り立つ。ダンスをつなぐ劇があるからダンスができる。曲を演奏するバンド。コーラス。昭明、ピンスポットの切り替えを常にしてくれている方。写真や映像を撮つて、DVDを作つてくださる方たちがいる。常に音響を調整してくださっている。

そして、舞台袖では必ず誰かが早着替えをしている。早着替えをして次のステージに向かつている。それを支える人がいる。私は主要役者でほとんど着替えはないのですが、一度だけ、早着替えがあります。それは『アウェイク』



（前ページからの続き）

の最中に、白のデコチューに着替える早着替え。かなりの戦いです。一つ間違えたり、失敗があると絶対に間に合わない。でも、それを支えてくれる仲間がいました。

主要役者のメンバー以外は『ボーン・フォー・ディス』への着替えがある。けど、私たちの早着替えを助けてくれました。私のヘルプに入ってくれるのはみつきちゃんとだったので、黄色い鬼ちゃんなどたのですが、黄色い鬼ちゃんがいつまで、一緒にやつてくれて、私は次の舞台に立つことができました。

きっと自分一人では間に合わない。でも、手伝ってくれる、繋いでくれる仲間がいるから、できる

のデコチューに着替える早着替え。かなりの戦いです。一つ間違えたり、失敗があると絶対に間に合わない。でも、それを支えてくれる仲間がいました。

主要役者のメンバー以外は『ボーン・フォー・ディス』への着替えがある。けど、私たちの早着替えを助けてくれました。私のヘルプに入ってくれるのはみつきちゃんとだったので、黄色い鬼ちゃんなどたのですが、黄色い鬼ちゃんがいつまで、一緒にやつてくれて、私は次の舞台に立つことができました。

（前ページからの続き）



んだ。本番でも、通し練習でも、困っている人がいたら絶対に助けてくれる仲間がいます。突然のハピニングが起きたとしても、絶対に乗り越えられる。みんながいるから大丈夫だつて、強く感じます。そういう風に感じられるのは、本当に舞台に立つみんなが一体となつて、一つとなつて、お客様に伝えたいことを伝えているからだと思います。

### ■磨いていくことの楽しさ

今回、主要役者として舞台に立たせてもらつて、お客様に表現



して演じる瞬間。お客様からの笑い声、歓声、拍手があつて、伝えるものが次々に伝わつていく、瞬間。すべてが私にとって宝物でした。多くの人前に立つことさえ特別なものでした。

自分で表現することが怖かった。多くの人の前に立つことさえできなかつた。セリフを言う? 大きな声を出す? 表情をお客さんに見せる? 私にはできない。「ちゃんと生きていきたい」けど、できない私が、嫌だつた。憎らしかつた。だけど、私はなのはなにきて、百八十度変わりました。何も怖くない。恥ずかしくない。表現するのも、ステージに立つのも、ちゃんと生きていくつていいんだ」と思うことができた。なのはなにきて、正しい道を教えてもらつて、



の奥まで響き渡る瞬間。スポットライトの中で思い切り、ゆめのとライドの中で思い切り、ゆめのと

して演じる瞬間。お客様からの笑い声、歓声、拍手があつて、伝えるものが次々に伝わつていく、瞬間。すべてが私にとって宝物でした。多くの人前に立つことさえできなかつた。セリフを言う? 大きな声を出す? 表情をお客さんに見せる? 私にはできない。「ちゃんと生きていきたい」けど、できない私が、嫌だつた。憎らしかつた。だけど、私はなのはなにきて、百八十度変わりました。何も怖くない。恥ずかしくない。表現するのも、ステージに立つのも、ちゃんと生きていくつていいんだ」と思うことができた。なのはなにきて、正しい道を教えてもらつて、



でも演劇をする中で、自分を捨てて演技することがいつの間にかものすごく楽しいものへと変わつていました。何かの役になり切ること。深いところで解釈をして、深く演じる。ゆめのとしていどころで演じる。ゆめのとして演じ、劇の中で、妖怪や閻魔大王、未来の人、リトル・トリリーなどたくさんの人たちに出会つて。その

（次ページへ続く）

で表現できたことが、幸せでした。理解し合う仲間に出会つたからこそ、今の自分があるつて感じます。私は、こんなにも、自分を表現することが楽しいことだつたんだ、と初めて気が付きました。

自分は、今まで、軽い人生を送っていました。軽くて浅いコミュニケーションばかりを取つてきて、点ど点の会話しかできなくて。そんな自分が嫌でした。ものすごく

(前ページからの続き)

瞬間が本当に楽しくて、幸せの時間でした。毎日の演劇練習が楽しくてたまらないものになっていました。本当に、今までの自分とは、まるで違つて、初めての感情でした。練習すればするだけ、徐々に慣れてきて、そのシーンが良いものへと変わっていく、本当にうれしかったです。努力することが、自分で宝物のような瞬間だつて思いました。きっと、私の一生に残る、大切な経験です。

### ■たくさんの方々の力で

コンサートを迎えるうえで、多くの家族に囲まれました。なのはなの卒業生が次々と帰つてきてくれました。

コンサートを迎えるうえで、多くの方々が協力してくださいました。本当に、自分一人ではできないコンサート。多くの方の支えがあつて、できる。一人ひとりの存在が大きくて大切で。多くの方が集まつて、ホールは暖かい空気で包まれました。その空気の中にいられたことが、本当に幸せでした。

大切な家族と日々の練習を積み重ねる日々。そして本番、幕が開く前の緊張感。みんなで「エイエイオー！」と、言つた瞬間。主要役者の四人で肩を組んで「頑張るぞ!!」と言つた瞬間。お客さんからの温かい拍手があつて、その瞬



コンサートは終わつてしまつたけど、私たちは決して終わらないです。私たちにお父さんお母さんが伝えてくれたものがあります。人は何のために生きているか。理

解し合う日々を積み重ねること。そして、今回の脚本で初めて、自分が人生は自分で選んだものだということを知りました。摂食障害になることを、なのはなに来るこ

とを、選んだのはすべて自分なんだ。摂食障害は、ずっと走り続けなければいけない病気。成長し続けるには選んだ。なのはなに来て、利

他心を持つことを、まだ見ぬ誰かのために治ることを、選んだ。

自分が選んだ人生を、まっすぐ生きていこうつて、心から思います。理解する、その癒しを、ほのかの誰かにつなげていく。その役割を持つて生まれてきた。その役割は私はやり通す——、『ザ・ショード・マスト・ゴー・オン』で歌われているように。

なのはなに来てたくさん教えてもらつたことを、私は次の誰かにつなげていく一人でありたいで



### ■シヨーは続く

お父さんお母さんが自分を「ゆ

(次ページへ続く)

す。なのはなの一人として、摂食障害になつた一人として、生きていきたいと心から感じます。なのはなに来る前の自分、軽くて浅くて、チャラチャラして、周りの人生や、地域の方々から「すごくよかったです」と言ってもらえたこと。すべてが私にとって特別な、そして大切で宝物のような瞬間だつて思いました。きっと、私の一生に残る、大切な経験です。



(前ページからの続き)



めの」として、この脚本での役割をくれました。そのこともお父さんお母さんからのメッセージだと思います。ゆうなは、ゆめの役を通して成長してほしい。お母さんから、その言葉を聞いたとき、私は、ものすごくうれしかったです。自分の成長を願って、この役を与えてくださった。そのことがどれほどありがたいことか。私はその言葉を聞いて、お父さんお母さんが望む、その道へ、突き進んでいきたいと心から感じました。

ゆめのは、ちゃんと生きて、この世の中をもっと優しい世の中に変えたい気持ちを強く持っています。私よりもはるかに。でも、私はこの役を通して、ゆめの達と同じくらい、もっともつと強い気持ちを持ちたい。



本当になのはなファミリー・ワインターコンサートが、とても楽しい、そして私の一生に残るような、宝物のような時間でした。なのはゆめのを演じることはやめない。ゆめのや、じゅり、手相見さんやちのたちと旅した、あの一瞬を自分のものにして、世の中を変えたい。Kin NH Fを作っていく一人でありたい。そう強く思います。

本当になのはなファミリー・ワインターコンサートが、とても楽しい、そして私の一生に残るような、宝物のような時間でした。なのはゆめのを演じることはやめない。ゆめのや、じゅり、手相見さんやちのたちと旅した、あの一瞬を自分のものにして、世の中を変えたい。Kin NH Fを作っていく一人でありたい。そう強く思います。

なに来れて本当に良かった。お父さんはなの母さん、そして大切な家族に出会えて本当に良かった。私はこの喜びを、まだ見ぬ誰かにつなげていきます。これでおしまいじゃなくて、ここが始まりで、これから、私はコンサートで学んだことを、つなげていきます。なの母さんはなの母として。明日も頑張ろう!!!

## ウインターコンサートを終えて

ここ



「私たちが求める未来はエネルギー問題も、貧しい国も、地球温暖化もすべて解決され、平和に穏やかに暮らしていること」

を知りました。時空を超えて、世界を超えて旅する中でたくさんの人出会い、沢山の発見がありました。その新事実を、知った一人として、その事実を本当に実現していく一人になりたい。お客様に伝え、世界に広める一人でありたい。コンサートが終わっても、

コンサート翌日。その日から練習がないことが信じられなくて、朝起きた時に、本当に終わってしまったんだなと思いました。数か月前の私はまさかステージに立っているなんて想像もしていませんでした。なのはなに來た時にはすでに練習が始まっています。遅れてキャッチアップしても

一緒に練習し始めたこともたくさんありました。初めてコーラスをあって、朝起きた時に、本当に終わってしまったんだなと思いました。その曲は『ボヘミアン・ラプソディ』でした。音楽室にみんなが集まって、何時間もずっと立ちっぱなしでした。私は次第に足の感覚がなくなっていくのを感じて、遅れてキャッチアップしても

平気な振りをしながら、心では「早く

んな役作りをしたらしいのかは良くわかりませんでした。そんな中、他の妖怪の宴会シーンの練習も始まって、そこにはとても心強い先輩がたくさんいました。まだみんな役作りができない中、練習の中ですれぞれの妖怪についてみんなで意見を共有して、私は意見を見をなかなか言えなくて申し訳なつたけれど、私の飴妖怪についてもたくさん意見を言ってもらえて、自分では考えていなかつたこともたくさんあつて、勉強になることばかりでうれしかつたです。それからというものの、夜も毎日のように集まつて、日中いなかつたひろちゃんと共有したり、みんなとそろえて練習する時間がとても楽しくて、妖怪メンバーはどちら個性豊かで、たくさんの意見

を感じで、正直あまりシーンが想像できていなかつたのでよく分かつていませんでした。でも一からスクリプトを作り上げることのすごさはとても感じました。それからどんどん配役も決まつていつて、私は初めてだし、役は当然ないものだと思つていきました。ある日、黒板に貼つてあつた配役を見てみると「飴妖怪」こここの」の文字が。「私!!」とびっくりしました。すぐに台本をみてセリフを確認して緊張しながら言つたことを覚えています。候補にはもう一人、ゆうはちゃんもいて、「人が言ひ終わつた後お母さんが、ゆうはちゃんはすでに学生の役が決まつていのものもあつて、「ここのがいいんじやないか」と言つてくださいま

(前ページからの続き)



した。どんな役でももらえたことが本当にうれしかつたです。これらの練習がどんなに大変なものになるか知ることもなく……。セリフは少なかつたのでこれくらいならいけると思つていたもの、よく見てみると、登場するシーンはたくさんありました。そもそも飴妖怪を初めて聞いて、鳥取出身などもあって妖怪とは少し近いものを感じていながらも、どんな妖怪なのか知ることからスタートしました。調べてみると、ごくひよろひよろで、よくみる白い浴衣に三角の布巾を頭にかぶつている幽霊みたいな妖怪で、お腹に赤ちゃんを授かつたまま死んでしまい、水あめを買って赤ちゃんにあげていたそうです。知れたことはよかつたものの、これからどう

した。どんな役でももらえたことが本当にうれしかつたです。これらの練習がどんなに大変なものになるか知ることもなく……。セリフは少なかつたのでこれくらいならいけると思つていたもの、よく見てみると、登場するシーンはたくさんありました。そもそも飴妖怪を初めて聞いて、鳥取出身などもあって妖怪とは少し近いものを感じていながらも、どんな妖怪なのか知ることからスタートしました。調べてみると、ごくひよろひよろで、よくみる白い浴衣に三角の布巾を頭にかぶつている幽霊みたいな妖怪で、お腹に赤ちゃんを授かつたまま死んでしまい、水あめを買って赤ちゃんにあげていたそうです。知れたことはよかつたものの、これからどう



が飛び交うなかたくさん笑い合つて、気が付けばどんどん役になりました。

きつっていました。



## ■もつと表情を出して

ダンスも初めは、見ているだけだった『ボヘミアン・ラプソディ』や『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』もフォーメーションに入れてもらえて、『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』のサビはみんなと一緒に振り入れをしました。初めてさやねちゃんが前で踊つてくれたのを見た時、とてもかつこよくて、自分は踊れる自信がなかつたけれど、やりたい! と思いまし

やるのは逆に苦手意識をもつていました。それでも教えてくれるさやねちゃんやあけみちゃんはポーズを一つひとつ丁寧に教えてくれて、振りもだけどどんなイメージをもつたらいいということも言ってくれる表現力の豊かさに驚きつつも、すごく分かりやすくて樂しかつたです。初めは激しい振りやきつい体勢に、最近全く運動しないなつかたこともあって激しい筋肉痛に襲われましたが、徐々に筋肉痛になることもなくなつていて、身体も筋力がついていることを感じてうれしかつたです。コーラスもまた大変でした。次から次へと新しい曲の音入れがあつて、まだあやふやなまま、前のコンサートで歌つて今年も歌う曲を復習しようとなつた時、一気に四、五曲くらい楽譜を渡され、思わず戸惑つてしまいました。それでもみんなが「一緒に頑張ろう」と声をかけてくれたり、まなかちゃんが夕食後に一曲ずつキヤツチアップもしてくれたのがうれしかつたです。歌うこと自体はもともと好きなほうではあつたものの、ここまで真剣に練習したことはなかつたです。あゆちゃんが和訳してくれた歌詞を見たり、

(前ページからの続き)

曲ができたストーリーやどんな意味が込められているのか練習のたびに教えてくれることが、歌うにあたつてすごくモチベーションになつて、それを聞いてからでは気持ちの入れようが全くちがうこといつも実感していました。特にQueenの曲は、本気で音楽を愛していて、一人でも多くの人に自分たちの曲を届けたいという思ひがどの曲にも込められていて、とても素敵な曲ばかりで、全世界に今もなお愛されている理由がよく分かりました。

「ここ」のちゃんがそんなに笑つて  
ることを初めて見た一  
ることがあって笑うと、同級生から  
も、



A photograph of a young female dance troupe performing on stage. They are all wearing matching blue sequined leotards with white bows and white tutus. Each dancer has a white headband with black cat ears. They are in a dynamic pose with their arms extended wide. The background shows stage lighting and curtains.

た。曲ごとに表情をみんなで見合いました。自分も見てもらつて、「もつともつと表情を出して」とか「目に光を入れる」ということを言つてもらえてイメージが付きやすくなりました。最後にみんなで、何の曲でしょうかクイズを出し合いました。笑顔の表情だけでも違いが出せて、「これかな」と分かるのが面白かつたです。

## ■サックスに向かいながら

練習が進む中で、もらえる時間が少なかつたのが楽器練習でした。私が来た時には、すでにみんなは自分の楽器で『オペラ座の怪人』の練習が始まつていて、私は楽器を決めることからスタートしました。最初にみんなの練習時間にお邪魔させてもらい、実際に



もいてくれて、とても心強いなと思いました。それでも練習は自分にどうてはなかなかハードで、音階はリコーダーのように指で押さえれば変わっていくのでわかりや

初めはうまくできませんでした。あと息が全然もたなかつたり、タイミングがよく分からなくて全く続けて吹けませんでした。ロングトーンをするのは今でもギリギリです（笑）。

それからあゆちゃんに見ても  
らつて音楽室でみんなで練習した  
とき、あゆちゃんが『オペラ座の  
怪人』の物語を教えてくれて、私  
は初めて知つて、すごく衝撃でし  
た。純粋に愛する気持ちの中に  
行き過ぎてしまつた欲が切なく  
して、行き過ぎてしまつた感情に少  
し怖さを感じました。その話を聞  
いて、より曲のイメージがつきま  
した。あと、ありがたいことに日  
（次ページへ続く）

A group of young women in traditional Japanese attire, specifically dark green kimonos with intricate patterns, are playing brass instruments. They are positioned in a row, facing slightly to the right. The woman in the foreground is playing a saxophone, while others behind her play brass instruments like trumpets and tubas. The background is a simple, light-colored wall.

(前ページからの続き)



中の昼食前一時間、さとみちゃんとキャツチアップの時間をもらえました。さとみちゃんは本当に上手で、けれど吹奏楽部も一年しかやつていなかつたと聞いて本当に才能だなと思いました。詳しくタンギングを教えてもらつたり、苦手な音も分かつてきたり、たつた一時間だったのに次に吹いた時の吹きやすさの違いにとても驚きました。その週は毎日の一時間、個人でたくさん練習出来て、日に日に吹けるようになります。またサックスクリニックにも行かせてもらいました。初心者の自分が行くことが申し訳なかつたけれど、プロの奏者の方に直



接教えてもらえて、一番の発見は、上の歯がしつかりマウスピースにあたつていいということもありました。咥え方からできていなかつたことにも驚きました。あと教えてもらった先生があけみちゃんのサックスを見て、とても興奮していました。それほど貴重な楽器が揃つていて、使わせてもらえることがすごいことなんだなと実感しました。すごく貴重な時間を過ごせてありがたかったです。

パート練習では自分たちの主旋律を、トロンボーンや大正琴の人と一緒に、主にえつこちゃんが指揮

を執ってくれて、どんなイメージで吹こうということを言ってくれながら練習したり、隣ではあけみちゃんがいつもアドバイスをくれて上達することができたと思います。

### ■舞台設置！



通しが始まつてからはさらに忙しくなつて、練習したいことがたくさんあるのにどんどん時間が過ぎていくのが早く感じました。脚本も新しくなつたり、みんなの完成度も上がって、自分も気が引き締まつていきました。特に劇は、脚本が新しくなるたびに分かれやすさや、好きなシーンがどんどん増えていつたし、みんなすごいけれどやっぱり主要役者の三人

本番が近づくにつれて、今度は

が毎日練習を重ねていく中で気持ちは、脚本が新しくなるたびに分かれやすさや、好きなシーンがどんどん増えていつたし、みんなすごいけれどやっぱり主要役者の三人

が毎日練習を重ねていく中で気持ちは、脚本が新しくなるたびに分かれやすさや、好きなシーンがどんどん増えていつたし、みんなすごい



ついにホール入りして一日目。実際にホールで組み立てる、体育馆で見ていたよりも何倍も大きく見えて迫力が増すのを実感しました。それから照明もついたり、バンドも音を出してやってみ

本番は、緞帳が上がった瞬間に

## ■自分自身の物語

は、舞台背景もベニヤ板にイラストを描いただけのものだったと聞いて、今までの卒業生の先輩方がお父さん、お母さんと一緒に作り上げてきたからこそ今があることに感謝したいです。



した。それでも始めたばかりの時は、舞台背景もベニヤ板にイラストを描いただけのものだったと聞いて、今までの卒業生の先輩方がお父さん、お母さんと一緒に作り上げてきたからこそ今があることに感謝したいです。



(前ページからの続き)  
だなと思つて、初めての経験に胸がいっぱいになりました。それと同時に改めて照明や、音響すべてを自分たちの手や手伝つてくれる関係者の方だけで完成させてい

ることがすごいことだなと思いま  
した。それでも始めたばかりの時  
は、舞台背景もベニヤ板にイラス  
トを描いただけのものだったと聞  
いて、今までの卒業生の先輩方が  
お父さん、お母さんと一緒に作り  
上げてきたからこそ今があること  
に感謝したいです。



「脚本は自分が書いたのではなくて、神様が書かせているだけなんだ」

と教えてくれた時、お父さんがみんなと同じ立場になつて、メッセージを一緒にたくさんの人人に伝へ前に出れて、声もしつかり出で、セリフを言い終われて、とにかく安心しました。自分の役割を果たしてもう終わつたくらいの気分になりました。本番前に妖怪のみんなで確認した変更点もみんなで揃つた感覚を感じて、本当に楽しかったです。最後『ザ・ショー・

マスト・ゴー・オン』が終わつた瞬間、ほんとに生きていてよかつたなと思いました。最後、舞台挨拶でのお母さんのコメントで、これまでお母さんがすべてあふれ出していました。

お父さんが、「脚本は自分が書いたのではなくて、神様が書かせているだけなんだ」と教えてくれた時、お父さんがみんなと同じ立場になつて、メッセージを一緒にたくさんの人人に伝へようとしてくれていることを改めて実感しました。数か月前まで、真つ暗で先が見えない人生を歩んでいて、ステージに立つなんて全く想像もしていなかつたのに、なまになじむことができました。伝えをもつてみんなの一部としてステージに立てたことが本当に樂しかつたし、初めてこんなにも光を浴びて輝くことができました。今年のコンサートは終わつてしまつたけれど、この先一生心には残り続けるし、KINNHFの未来作りもまだずっと続くので、わたしもみんなと一緒に成長し続けたいです。



だからこそ分かり合える気持ち。理解し理解される関係がすでに成り立つているからこそ自分もすぐにはなに来て一日で光が差してきました。みんなの温かさに触れて、同じ悩みを抱えてきたみんな

になつていたこと。まさにこの脚本は自分自身の物語そのもので、イモムシで引きこもりだった自分はみんなと練習した日々や、脚本を通してコンサートを終えた今さなぎに成長できたと思います。まだ蝶になつて飛び立つまでには時間がかかると思いますが、今ならみんなと一緒に絶対飛び立つことができるという自信があります。華をもつてみんなの一部としてステージに立てたことが本当に樂しかつたし、初めてこんなにも光を浴びて輝くことができました。今年のコンサートは終わつてしまつたけれど、この先一生心には残り続けるし、KINNHFの未来作りもまだずっと続くので、わたしもみんなと一緒に成長し続けたいです。



「KINNHF」の始まりの日。  
これは現実？それとも幻想？  
非日常的で一瞬だつたけれど永遠に残る幻のような最高の時間でした。

初めて参加させていただくコンサート。素人にはできない、プロにもできない。なのはなだからこそできるコンサート。

そう話してくださいたお父さんの言葉に、とても勇気をもらいました。

そんなコンサートを作る一員になることができ、すごく嬉しかったです。他では決して得ることのできない、これから的人生観が大きく変わる貴重な体験となりました。

八月の終わりから楽器練習が始まり、九月六日に音楽合宿第一弾、そして計十五回の合宿（集中練習日）、一週間のホール入り期間を経て迎えた当日。

約三か月、コンサートという大きな目標に向かつてみんなで全力で走り抜けてきました。

その過程でもちろん苦しいこともたくさんありました。自分では気が付かなかつた、見て見ぬふり

「上手なステージなんて求めていない。所詮は素人。プロには及ばない。けれどプロより感動するステージを私たちなら作ることができる」

何かにこんなに本気で取り組んだのは、今までの人生で初めての経験だったのではないかと思いま

す。「本気を出すのは格好悪い」そんな現代の風潮に流され、なんとなく生きてきた。心の底では本

気でやりたいと叫びつつも、それができずにいつしか本気を見失つ

て逃げてきた自分の弱さに直面することが何度もありました。でもそれは、自分がこれまで生き

てきた中での甘えからくるもの。コンサートを通じて、自分の甘えを自覚し、あたたかい家族と手



幕開けの曲なので、「ウインター・コンサート、楽しんでください！」とお客様に伝えるんだ、とお父さんから教えていただきました。その思いに加え、あゆちゃんが教えてくださった和訳を読んで感じた想いもこみ上げてきました。「ママ、僕はたつた今 人を殺してしまった」

## 「KINNHF」は 幕を開けたばかり ゆうは

初めての人生で初めての経験だったのです。他では決して得ることのできない、これから的人生観が大きく変わる貴重な体験となりました。

そんなコンサートを作る一員になることができ、すごく嬉しかったです。他では決して得ることのできない、これから的人生観が大きく変わる貴重な体験となりました。

八月の終わりから楽器練習が始まり、九月六日に音楽合宿第一弾、そして計十五回の合宿（集中練習日）、一週間のホール入り期間を経て迎えた当日。

約三か月、コンサートという大きな目標に向かつてみんなで全力で走り抜けてきました。自分では気が付かなかつた、見て見ぬふり

### ボヘミアン・ラプソディ

幕が開け、一曲目。

緞帳が上がっていく瞬間の緊張感

目の前の視界が開けていく感覚、今も鮮明に思い浮かべることができます。たくさんの想いが詰まっている曲で、一曲目から涙が出そうでした。



始まるこの曲。

こんなはずではなかつた。誰かを悲しませるような、苦しませるようなことをするはずではなかつた。ただ、ただ良くなきかただけなのだ。そんな純粹な良くなきかたかったという気持ち、表情を作ると教えていただきて、これまで良く生きたかつたけれどそれができずもがいていた自分の物語と重なりました。



(前ページからの続き)

また、この曲は幕開け、しかもコーラスからスタートの曲。お客様の気持ちをつかむ重要なコールアスとなるので、コーラスをする曲の中でも特に力を入れて練習した曲でした。音を取ることにすごく苦手意識のある私は、今自分が

出している音が違つていていることすらわからない状態でした。あまり

の不出来さに、できない自分がみんなの中にまじつているということを苦痛に感じ、泣いて逃げ出してしまったこともあります。でもそんな時、みんなが、「一緒に居てくれるだけでも嬉しいよ。音はそのうち分かるようになるから」とやさしく声をかけてくれました。そして、たくさん、個人練習に付き合ってくれました。できない焦り、そしてそんな自分がどうみられるか。自分にこもつて恐怖を抱いてしまっていたけれど、自分から離れてみれば、そこはみんなのあたたかさにあふれています。できないからみんなと一緒にいたくないと思つてしまつた気持ちが、できるようになるためにみんなと一緒にいたいと思うよう

になりました。そうして練習を重ね、食事前のコーラスも始まり、何度も何度も歌い、しつかりと向きに声を出せるようになります。みんなと声をそろえられる喜びを知ることができました。

この曲は、ももかちゃんのリフトがあるのでですが、その時にあがつたお客様からの歓声を聞いた瞬間、心の底から嬉しかったです。私は踊つていて姿を見ることもなかつたけれど、宙を舞う

「just get out」の場面では始まりの、「良く生きたかつたけれど、もう駄目なんだ」という、切ない

志を持った歌詞と気持ちに切り替わり、力いっぱい踊ることができてポーズが決まつた瞬間すごく

氣持ちよかったです。

みんなと何度も緻密に動きをそろえ、気持ちをそろえ、たくさん

練習してきたこの曲でコンサートをスタートさせられて嬉しかったです。

## ■劇の始まり

『ボヘミアン・ラプソディ』が

終盤に差し掛かると、私は途中で抜け、ダッシュで上手から下手に回り、劇に出る準備に入りました。

私は物語の最初、第一声となるセリフを言う役をいただきまし



学生二という名前もない、お客様の印象にも残らないだろうなという役。それでも私にとつては、かけがえのない役でした。同じ学生役のほかちゃんと、この子はどんな子なのだろうか、どんな気持ちから、「そんな弱気の自分を捨て、良く生きてやるんだ！」

人は何のために生きるのか。本当の幸せとは何か。その答えを求める旅の始まり。その旅の始まりが私に務まるのか、と不安に思う気持ちもありました。

けれど、ここから始まるのだとわくわくした気持ちもあり、この役ができることが嬉しかったです。



(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

ステージに足を踏み出す瞬間  
は、緊張もしたけれど、後にはほ  
のかちゃん、あやちゃん、そなちゃん  
が続いてくれていることがとて  
も心強かったです。

そして、この後の三時間、どうか主人公たちが素敵な時間をお客様と一緒に共有できますように。そんな祈るような気持ちを込めて、バトンをつないではけていきまし

私は最初、じゅりちゃんを猫にするように、手相見妖怪に何かしてもらいたいことはあるか、要求はあるかという質問かと思つていました。けれど、途中から、「何か生きていくための希望はあります

すか」という質問だつたのではな  
いかと思うようになりました。

そしてこの後の物語を通して、  
その希望をかなえられるように、  
心中を隙間風が吹き抜けている  
三人が希望をもつて生きていくこ

とができるようにするために、この手相見妖怪が現れたと思うと、改めて手相見妖怪の存在の大きさを感じられました。

手相見妖怪の、ゆめのとちのの手相をMΟFで見た後に、「何か希望はありますか？」と聞くセリ

## ■主人公の女の子たちと

## 手相見妖怪の出会い

お父さんのお誕生日会からこの

アーマル

だきました。大好きになつた曲のダンサーにならせてもらつたことがすごく嬉しかつたです。

曲をさせてもらつて、コンサートでもダンサーとして出させていただきました。大好きになつた曲のダンサーにならせてもらつたことがすごく嬉しかつたです。

置がずれたりしてしまうとぎこちなくなくなってしまうので、たくさん

■猫になつたじゆりと

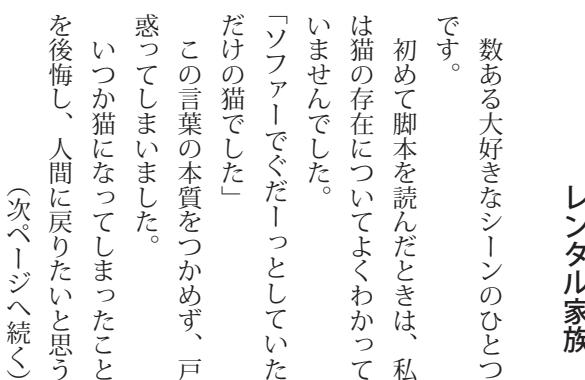
数ある大好きなシーンのひとつです。

初めて脚本を読んだときは、私は猫の存在についてよくわかつていませんでした。

「ソフナーでぐだーつとしていた  
だけの猫でした」

この言葉の本質をつかめず、戸惑つてしましました。

個人練習はいくらでもできる  
し、少しづつでも集まることはで  
きたはず。それなのに自分から行



動を起こさず、声がかからないからえずいいかと流してしまっていました。本当に甘いなど

あゆちゃんに指摘をいただいてから、気持ちを引き締め、みんなで声を掛け合うようになり、ディテールを詰めながら練習でてきてすごく楽しかったです。もともと好きな曲を踊れて楽しいと感じていたけれど、みんなで本気で練習して踊る楽しさは全くの別物でした。

研究をしました。なめらかだつた  
といつてもらえた時は、みんなと  
心中でハイタツチをしている気  
分でした。



(前ページからの続き)

のではないか。そんな風に考えていました。

でも、お父さんが、

「猫的な人がいてもいい。みんながみんな目に見えて役に立つ人でいるなくてもいい。ただばーっとそばにいて話を聞いてくれる人の存在も大切」

と教えてくださいました。

そして、集合などを通して何度も

も猫の存在についての話を聞くうちに、猫について理解が深まり、その素晴らしさに気が付くことができました。

猫はありのままの自分を、人々受け入れてもらい、自分自身も等身大の自分を受け入れられる人。それができていなければ、無

りませんでした。

「誰かのため」が「自分のため」にもなる行動ができる。

そんな猫的な生き方があると知れたことが、大きな発見でした。

脚本を読み込み、お父さんの話を聞き、猫への解釈が進む中、猫つてこういうことなのかと身をもつて分かったと思えた瞬間がありました。

私は今回のコンサートで、つき

ちゃんやふみちゃんが中心となつてくれている衣装係として、活動させていただきました。十二月になりました。練習も係作業もかなり詰められ始めたころ、つきちゃんが、

「今回ゆうはちゃんが衣装係にい



てくれる助かつた」という言葉をかけてくれました。

何か大きな仕事をした後というわけでもなく、ただ偶然お風呂で出会つただけの時に。

その言葉を聞いたときは、何といわれたか言葉がうまく呑み込めないくらい驚きました。

コンサートにかかわらず、以前からなのはなの衣装部でいてくれるつきちゃんやふみちゃんが、コンサートでも多くの衣装を考案して、みんなが無理なく衣装を回せるよう、お仕事前の朝早くや夜遅くまで沢山のことを考え、細かく管理し仕事をこなしてくれている姿を見ていました。二人が経験を活かして、計画的に、けれど臨機応変に動いてくれていて、苦労を

経験のない私は二人のように機敏に動くことができず、格好いい姿に憧れや希望を感じながら、二人の考えを横で聞かせてもらつたり、簡単な衣装チェックや準備を手伝わせてもらつたりしていました。

できることが少ない分、一人のそばで見て学び、私にできることには誠実に仕事をしていたつもりです。けれど二人のよう、全体をみて柔軟に動けないもどかしさがありました。

それでも、つきちゃんは私がいて助かつたといつてくれました。「いつもそばで見ていて、なんとなくでも衣装のことを分かつてく



その瞬間、劇で猫のじゅりちゃんが家族とお別れするシーンが頭をよぎりました。

家族は、じゅりちゃんが猫として、ただそばにいてくれたことを喜んでいました。そしてじゅりちゃんも、猫として家族と一緒に過ごし、何ができるもできなくいつつ、そばにいて寄り添つて過ごし、毎日を一生懸命に生きる家族に勇気と元気をもらつています。

つきちゃんは衣装係としてそばにいるだけで喜んでくれました。できていることは少なくとも、今の自分の能力を受け入れて、その中でできることを割り振つくれました。私は、そばで見て沢山のことを感じ、学ばせてもらいました。そばで見ているだけの時もある私はまさに猫だったのではないかなと思っています。

何もわかっていないのに手を出して邪魔をしてしまったり、そばにいてできることがあれば誠実に向き合つ。

必死になつて追い詰められなくて、それだけで役に立つ存在になれるのだと知りました。

（次ページへ続く）

私も、そして多くのお客様も

## ■閻魔様と天国、地獄

たかい人がたくさんいるのを感じて、明るい気持ちになりました。

このセリフでお客さんからも拍手が起こり、猫を受け入れるあたたかい人がたくさんいるのを感じて、明るい気持ちになりました。



このセリフでお客さんからも拍手が起こり、猫を受け入れるあたたかい人がたくさんいるのを感じて、明るい気持ちになりました。

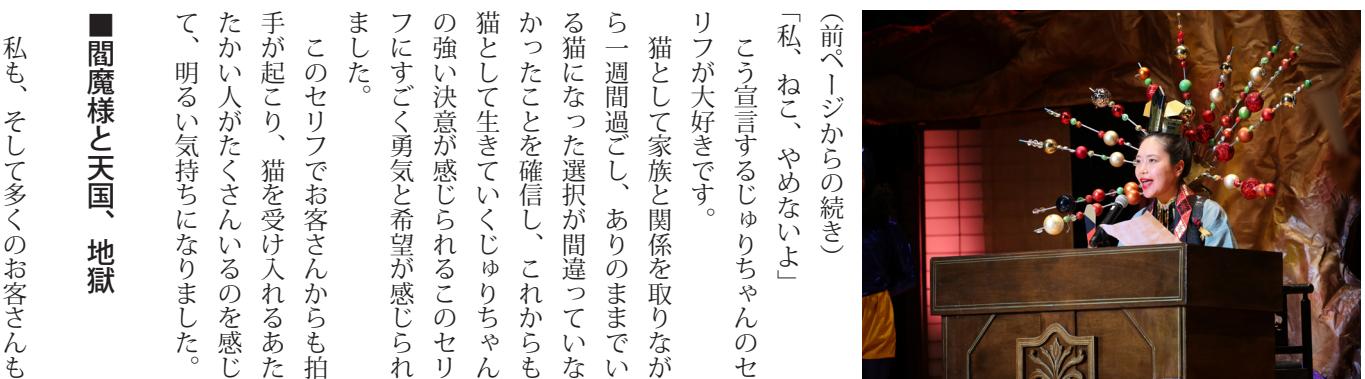
このセリフでお客さんからも拍手が起こり、猫を受け入れるあたたかい人がたくさんいるのを感じて、明るい気持ちになりました。

このセリフでお客さんからも拍手が起こり、猫を受け入れるあたたかい人がたくさんいるのを感じて、明るい気持ちになりました。

このセリフでお客さんからも拍手が起こり、猫を受け入れるあたたかい人がたくさんいるのを感じて、明るい気持ちになりました。



このセリフでお客さんからも拍手が起こり、猫を受け入れるあたたかい人がたくさんいるのを感じて、明るい気持ちになりました。



（前ページからの続き）  
「私、ねこ、やめないよ」  
こう宣言するじゅりちゃんのセリフが大好きです。

猫として家族と関係を取りながら一週間過ごし、ありのままでいる猫になつた選択が間違つていなかつたことを確信し、これからも猫として生きていくじゅりちゃんの強い決意が感じられるこのセリフにすごく勇気と希望が感じられました。

猫として家族と関係を取りながら一週間過ごし、ありのままでいる猫になつた選択が間違つていなかつたことを確信し、これからも猫として生きていくじゅりちゃんの強い決意が感じられるこのセリフにすごく勇気と希望が感じられました。

私はこれまで、世の中のみんなから声をそろえて地獄行きだといわれるような人生歩んできたと思う。

やさしさをなくし、モラルをなくし、自分の利益ばかり考える利己的な生き方。

過去の、巻き戻せない過ち。でも、それはもう関係ない。

これまでの人生がどんなものだつたとしても、良く生きたいと決意した瞬間から新たなスタートを切ることができると教えていただけて、それなら未熟な私でも、自分の未来を良くしていけるかもしれないと思うことができました。

また、このシーンでは、「奇数の人は地獄で、偶数の人は天国へ」というセリフや、狙つた場面で笑いが起つたり、有頂天の話で「おお」と納得してくださっている方がいたり、ここだというところでほしい反応をお客さんからいただけたことがすごく嬉しかったで

はなで気が付き決意した今の私の

衝撃を受けたシーンなのではないかなと思います。

悪いことをした人は地獄へ、良いことをした人は天国へ。そんなに、自分のこれからに望みを見いだせたシーンでした。

天国へ行くか、地獄へ行くかは閻魔様の気分次第。そんなことがあっていいのか、と驚いたとともに、自分のこれからに望みを見いだせたシーンでした。

私はこれまで、世の中のみんなから声をそろえて地獄行きだといわれるような人生歩んできたと思う。

やさしさをなくし、モラルをなくし、自分の利益ばかり考える利己的な生き方。

過去の、巻き戻せない過ち。でも、それはもう関係ない。

これまでの人生がどんなものだつたとしても、良く生きたいと決意した瞬間から新たなスタートを切ることができると教えていただけて、それなら未熟な私でも、自分の未来を良くしていけるかもしれないと思うことができました。

また、このシーンでは、「奇数の人は地獄で、偶数の人は天国へ」というセリフや、狙つた場面で笑いが起つたり、有頂天の話で「おお」と納得してくださっている方がいたり、ここだというところでほしい反応をお客さんからいただけたことがすごく嬉しかったで



今、私はなのはなにいる。これから的人生を、より良い人生に変えていくように、利他的な人間になれるよう決意し魂を磨いていけばいい。

これまでの人生がどんなものだつたとしても、良く生きたいと決意した瞬間から新たなスタートを切ることができると教えていただけて、それなら未熟な私でも、自分の未来を良くしていけるかもしれないと思うことができました。

何のために生まれ、何のために生きていくのか。決意を示す曲。天国でも地獄でも現世でも、魂磨きをすることだけが尊いことに違いはない。

お母さんに導いてもらひながら、日々魂磨きをして成長を続けていくこと、できること、それらを自覚し、目を背けずその使命を果たせる人であるよう、魂を磨きながら生き続ける。それが、な

生きる意味。地獄に落ちて、魂磨きをして、生きていく意味、生きていく理由を胸に刻み込み、決意を固めて、心も身体も生まれ変わつて、新たな人生の段階を歩んでいく地獄の卒業生たちと同じ段階にいるのを感じられる曲でした。

この曲はコーラス隊とダンス隊の二つに分かれてはいるけれど、みんなが同じ志でいることを強く感じられました。同じ志を持つ仲間がこんなにもいる。これほど心強いことはないなと思います。

そして、来てくださった方も、同じ気持ちになつていただけたう、気持ちがこもりました。あゆちゃんがダンスを見てください。あゆちゃんがダンスを見てください。（次ページへ続く）

## ■『ボーン・フォー・デイス』

生きていくのか。決意を示す曲。天国でも地獄でも現世でも、魂磨きをすることだけが尊いことに違いはない。

お母さんに導いてもらひながら、日々魂磨きをして成長を続けてい

う、気持ちがこもりました。あゆちゃんがダンスを見てください。（次ページへ続く）

さつて、一カウントずつ動きを止める。傷を負つた私たちだからこそ分かること、できること、それらを

自覚し、目を背けずその使命を果たせる人であるよう、魂を磨きながら生き続ける。それが、な



(前ページからの続き)  
きていくのだと強く心を固めていくことのできる場面でした。

## ■ラストシーン

最後の最後にもう一度、少し学生の出番がありました。

物語の最初と最後をつなぐブックエンドとなる役。

実際にぐちやぐちやになつた車を調べて、気持ちを作るところから練習を始めました。

ここは、「何を言つているのかわからない。言葉が流れてしまつている」とよく指摘をいたしました。けれど、ほのかちゃんが何度も練習に付き合つてくれ、個人練習で、特に練習に苦戦しました。けれど、ほのかちゃんが何度も練習に付き合つてくれ、個人練



さやねちゃんが中心となつてくれて練習を進めました。その時さやねちゃんから本当に熱い思いを感じて、その思いをみんなでさらり強いものにしていくことができたと感じています。心が壊れそうなどきも、内側がさらけ出されそ

うなときでも、ショーは続いています。このショーが終わることはない。私たちはショーマンとして生き続けていくことしかできないのだ。そのことを分かり、覚悟を決めて踊らなければならない。

みんなで強く同じ意志をもつて、一体となり表現をしました。私たちの生き様。それを包み隠さずすべて魅せられるように。

コンサートの集大成として全員でこの曲に表現できたことが嬉しさです。

本番の後には、みつきちゃんが、「どんどんグレードアップしていったね。今までで一番いい『ひえー、この人』だったよ」と言つてくれて、スーパーマンたちのあたたかさに感謝でいっぱいになりました。

## ■『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』

コンサート最後の曲。

みんなでぎりぎりの全力を、すべてをさらけ出した曲。



かつたです。  
緞帳が下りはじめ、物語が終わったとき、目が潤んできました。

全力をささげた三時間がものすごく楽しくて、気持ちよかつたです。

お父さん、お母さんがステージに来てくれて、緞帳が再び上がり、みんなで並んで挨拶をしました。

その時にやつと落ち着いて客席をしつかりと見ることができました。

私たちがこの方たちに届けていたのだ。この中で、たつた一人でも、コンサートを通じて明るい未

来を見てくださつた方がいるかもしれない。そう思うと、私たちのこれまでがとても誇らしく感じました。

勢ぞろいで三列に並ぶと、ギュツとなつて、改めて私にはこんなにも多くの家族が、理解し合える仲間がいるのだと思うと、今

## ■『ホワイト・フラッグ』

物語の幕が下りた後、真っ先に永禮さんのあたたかいアンコールの声が聞こえ、あいさつの後、最後に『ホワイト・フラッグ』を踊りました。

何があろうと屈しない。死んだふりして、見ないふりしてやり過ごす、それは絶対にしない。

やさしい世の中が来る日まで、利他的な社会していくために私たちは挑み続ける。決して白旗をあげることはない。

お父さんがあいさつで話してくれださつたことは次の準備で残念ながらゆつくり聞くことはできませんでしたが、落ち着いたころにお

母さんの話になり、そこでこちらえていた涙があふれてきてしまいました。

「この子たちは必死で生きてきたんです。やさしいから、頑張つて必死に生きてきたんです。これからきっととい人生を歩いていきます」

## ■舞台挨拶

泣きながらなので正確に聞き取れないかもしませんが、お母さんの言葉で、お母さんの大きな愛を感じました。

ずっと望んできた、本当の愛にあふれる世界がなのはなにはあると改めて思うことができました。

母さんの話になり、そこでこちらえていた涙があふれてきてしました。



(前ページからの続き)

きなこの曲を、アンコールでみんなと踊れました。思い出すだけで今も胸がいっぱいになります。力強く、今の自分の精一杯を詰め込んで、すべての演目が終了しました。

ウインターコンサートを通じて、本当に沢山の仲間がいることを実感することができました。

各地から卒業生やボランティアの方々が集まつてくださり、ぎゅうぎゅうに肩を寄せ合つて当日昼食をいただいたとき、本当に恐れることは何もないんだなと思うこ

食事は、ホール入り期間中も毎食あたたかくて豪華な食事を用意してくださつていて、とても驚きました。美味しい食事を用意してくれたり、古吉野に帰るとすでにあたたかいお風呂が用意してありました。美味しい食事を用意してくれたり、古吉野に帰るとすでに

あたたかいお風呂が用意してありました。美味しい食事を用意してくれたり、古吉野に帰るとすでに

みんなで三ヶ月間、本気で挑み、作り上げてきたコンサート。無事成功させることができ、大きな達成感と喜びを得ることができます。

照明班さんも試行錯誤を重ねて最高の演出にしてくださり、撮影班さんはその最高の一瞬を永遠のものにしてくださり、他にも私の見えないところで沢山の方の力があつて当日を迎えたことが感謝です。

今回のコンサートは、これまでの私の生き方を覆すものでした。「理解と愛にあふれる人生をすごしたい」

そんな純粋な願いを、周囲の環境に打ち消されて、心に傷を負つて生きてきました。

どうにかして空っぽの心を満たしたい、幸せになりたい。そのため特別でいなければいけない。

物語の主人公と同じように、必死にもがいて苦しんで生きてきました。

普通になりたいと思いながらも、愛情を得るために特別でいなければいけないと思い込み、焦り追いつめられる毎日。いま幸せを感じることができないから、未來の幸せを追い求めて、目標を見

とができました。なのはなを好きでいてくれる、なのはなに希望をもつてくださる、同じ志を持つ仲間がこんなにもいる。

お父さんの脚本を、こんなにもたくさんの方に支えられて、舞台で表現できることが本当にありがとうございました。

ステージにしていくことができました。今までの努力の練習過程はもちろん、受け取つてくれる方がいて初めて本物にすることができました。私は私の人生でかけがえのない財産はこれからどんなに苦しいことがあつても、このコンサートが初めて初めて本物にすることができるのだなど知りました。

スポーツを浴びて、多くの方に反応をもらひながら表現できる人生。どれだけ恵まれたことか。最高のカードを引いたと心の底から思います。

みんなで三ヶ月間、本気で挑み、作り上げてきたコンサート。無事成功させることができ、大きな達成感と喜びを得ることができます。

その中で小さな理解の積み重ねを大切に、今感じられる幸せを大切にして生きていくべきだと知りました。

コンサートから、特別であるうと焦らなくても、苦しまなくとも、ありのままの姿で周囲と、理解と支えになつてくれるだろうなど確信しています。

いつまでたつても幸せになれば、むなし今まで絶望する。間違った考え方、生き方ばかりしていました。



その中で小さな理解の積み重ねを大切に、今感じられる幸せを大切にして生きていくべきだと知りました。

今のはなでは苦しみを共感し、喜びを共感し、あたたかい家族との理解あふれる生活をしていました。

その幸せを、幸せだと気が付くことができるかどうかは自分次第。いま自分がどれだけ恵まれた環境にいるか、改めてよくわかりました。

この幸せを広げていけるように、この日お客様さんが見た世界を実現させられるように。

物語の幕は下りたけれど、私たちの「KIN NHF」は幕を開けたばかり。

世の中をあるべき姿にしていく良い生き方を求める。そのことに誇りをもつて生きていきたいで

した。何かに向かつて、仲間と全員がこんなにもいる。

かな反応で、声が大きくなり、気持ちが高まり、さらにさらにと良いステージにしていくことができました。

今までの努力の練習過程はもちろん、受け取つてくれる方がいて初めて本物にすることができるのだなど知りました。

スポーツを浴びて、多くの方に反応をもらひながら表現できる人生。どれだけ恵まれたことか。最高のカードを引いたと心の底から思います。

みんなで三ヶ月間、本気で挑み、作り上げてきたコンサート。無事成功させることができ、大きな達成感と喜びを得ることができます。

今回のコンサートは、これまでの私の生き方を覆すものでした。

「理解と愛にあふれる人生をすごしたい」

そんな純粋な願いを、周囲の環境に打ち消されて、心に傷を負つて生きてきました。

どうにかして空っぽの心を満たしたい、幸せになりたい。そのため特別でいなければいけない。

物語の主人公と同じように、必死にもがいて苦しんで生きてきました。

普通になりたいと思いながらも、愛情を得るために特別でいなければいけないと思い込み、焦り追いつめられる毎日。いま幸せを感じることができないから、未來の幸せを追い求めて、目標を見失つたまま走り続ける。けれど



(前ページからの続き)

が、本当に優しいことなのだと感じました。

お仕事組ではシフトの都合で早

く出勤する人や遅く帰る人もいて、よしぇちゃんはそんなみんな

の状況を把握して一人ひとりのこ

とを気にかけてくれていました。

夜にはホームページの編集作業も

していて、遅くなることもあつた

と思います。それでも翌朝には、

優しい笑顔で仕事組の朝食準備に

立つっていました。私が寝坊をしてしまった時には、よしぇちゃんが、「無理しないでね」と起こしに来てくれました。私が寝坊をしてしまつた時には、よしぇちゃんが、優しい笑顔で仕事組の朝食準備に立つていました。私が寝坊をしてしまつた時には、よしぇちゃんが、「無理しないでね」と起こしに来てくれました。笑顔で行つてきましたと仕事に行き、帰りましたとき笑顔で帰つてくる。よしぇちゃんの生活のペースや気持ちはいつも出でますと仕事に行き、帰りましたとき笑顔で帰つてくる。よしぇちゃんが仕事組のあるべき姿を体現してくれていたから、新しく仕事を始めるメンバーも、「よしぇちゃんの背中を見て、ついていけば大丈夫!」と安心してお勤めに出ることができました。なのはなファミリーの中にある「お仕事組ファミリー」をいつもあたたかい場所として守つてくれていたのがよしぇちゃんでした。



とつ

利他心についての質問があつたとき、お父さんとお母さんがこう話してくださいました。

そのとき真っ先に浮かんだのは、よしぇちゃんの姿でした。思

い返してみれば、よしぇちゃんが自分の殻にこもつている姿を、一度だつて見たことがありません。

よしぇちゃんは常に外向きの、「な

のはなファミリーのよしぇちゃん」でした。いつでも、みんなの

ために笑顔で全力でした。よしぇちゃんの日々の生き方は、利他心そのものだったのです。

も安定していく、変わらずにいてくれることに本当に安心をしました。

## ■二人の姿

よしぇちゃんが仕事組のあるべき姿を体現してくれていたから、新しく仕事を始めるメンバーも、「よしぇちゃんの背中を見て、ついていけば大丈夫!」と安心してお勤めに出ることができました。なのはなファミリーの中にある「お仕事組ファミリー」をいつもあたたかい場所として守つてくれていたのがよしぇちゃんでした。

「自分のコンディションを整え、いつもみんなのために動けるようになりますこと、それも利他心のひ



と、私は今を疎かにして、良いことも悪いことも先を見すぎてしま

う癖があります。大好きで尊敬す

るよしぇちゃんの背中を見て、私

も謙虚に生活をしていきたいです。

まずは、よしぇちゃんから受け

継いだ『仕事組』を、いまの仕事

組のメンバーと一緒に、「私もあ

んな風に働いていきたい!」とみ

んなが希望持てるチームとして

守り、育てていきます。判断に迷つ

たときは、(よしぇちゃんがつた

らどうするかな?)というイメー

ジをします。そんな風にして、い

ろいろな意味でよしぇちゃんの後

に続いていけるように、日々魂を

磨いていきます。

出発の日は、恵平さんがなのは

なに来てください一緒に昼食をい

なに来てください一緒に昼食をい

なに来てください一緒に昼食をい

なに来てください一緒に昼食をい

なに来てください一緒に昼食をい

なに来てください一緒に昼食をい

なに来てください一緒に昼食をい

なに来てください一緒に昼食をい

ただきました。二人が並んで笑顔

でいる姿を見ると、こんなに嬉しこ

いことがあるんだと涙が出てきました。

「よしぇちゃんは結婚後もなのは

など助け助けられるお互い様の関

係を作り、恵平さんはよしぇちゃんを通じてなのはなにつながり、

二人で新しい世界をどんどんと広

げていってくれると思うと、本当に嬉しいことだね」

お父さんがこう話してくれま

した。よしぇちゃんと恵平さんと、

新しい形でつながつていけること

も、とても嬉しく楽しみになりま

した。キャンプ、田植え、海水浴、

縁日、夏のイベント、そしてウイ

ンターコンサート。イベントがあ

る日もない日も、お二人でたくさ

ん帰つてきてください。

よしぇちゃん、恵平さん、ご結

婚おめでとうございます。

それは結婚に限らず、人生にお

けるすべての出会いや縁に通じる

と思います。自分に照らしてみると



ゲストをお迎えして、

## お餅つき大会!!

のりこ



餅つき、と言えばクリスマス、  
クリスマスと言えば餅つき？ な  
のはなの餅つきは、十二月二十五  
日、クリスマスの日に行なわれま

す。前日の二十四日は、みんながそれぞれの係に分かれて、餅つきの準備を行ないました。まず、もち米を洗う人は、今年は全部で七斗のお米を用意したそうです。私は、七斗という量が、どれくらいなのかな想像がつきませんでしたが、とにかくすごい量です。

■何度もついていたい

道具を用意する人、白や杵を運ぶ人、当日が雨予報のためテントを張る人。そして餅つきは中庭や体育館を使うため、体育館を掃除し、もち米を蒸したり、搗いた餅を丸めることができるようにセツトをする人、などに分かれました。私は、体育館の片付けと掃除の担当でした。誰もが、翌日の餅つきのために、張り切って生き生きした表情でした。そしてキビキビと

動くみんなと一緒に準備していると、私も、パワーが湧いてきて、餅つきがますます楽しみになつてきました。

A young woman with dark hair and bangs, wearing a white zip-up hoodie, stands smiling at the camera. An elderly man with white hair, wearing a blue sweatshirt, is leaning over a large, circular, light-colored stone mortar. He is using his hands to mix or knead something inside the mortar. The scene appears to be outdoors or in a rustic setting.

私は、石臼についてお餅をつきました。木臼。そして体育館内の餅つき機です。



さす。これも二三人で搗いていきます。松山さんが、杵を振り下ろすときは、力は入れずに杵のみだけで搗けばいいことや、搗いた時に少し手前に餅を引くこと、などを教えてくださいました。私は松山さんに教わったことを、まえちゃんが、上手いね！ と褒めてくれた時は、すごく嬉しかつたです。自分でも、上手く搗けた！

くなるまでこなることが重要だそうです。米粒が残っていると、その後掲いたときに、米粒が飛び散ってしまうそうです。



「餅を搗く時は、みんなで、「ヨイシヨ！ ヨイシヨ！」とか、「一！ 二！ 三！」などと大きな掛け声を掛けるのが、楽しくて嬉しくて、餅を搗いている人も、周りにいる人も、みんながすごくいい顔をしていて、本当に幸せだなあと思いました。



## ■あおい君たちを迎えてー

力強いので、重い杵を何度も何度も振り上げて捣いているのがすごくありました。私は重い杵で搗くと、すぐにへたばってしまいますので、軽い杵を使わせてもらいました。来年は重たい杵を、軽々振り上げられるようになりたいなあとと思いました。

した。たけちゃんやちいちの、あ  
おい君を大好きに大切に思う気持ち、一緒に楽しい時間を過ごした  
いと思う気持ち、たくさん喜んでたくさん楽しんで欲しい、と思う  
気持ちが本当に優しいなあとthoughtしました。



この日は、たけちゃんの保育園のお友達の、あおい君親子が来てくれることになつていきました。十時三十分頃になつて、あおい君のお母さんと、あおい君、お兄さんとのたいが君が階段を上つてやつてくるのが見えた時は、たけちゃんもども嬉しそうだつたし、私たちはみんなが歓声を上げて喜びました。

嬉しいそうに、餅をこねたり焼いたりしている姿が、本当に可愛くて、すごく温かい気持ちにさせてもらいました。一人に対するみんなの言葉や、見つめる表情が、どれも優しくて温かくて、そんな中にはいさせてもらえることが、本当に有難くて幸せだなあと思いました。こんな風に、ゲストの方が来

私は丸める作業には、少ししかいなかつたのですが、搗きあがつた餅が柔らかくて温かくて、幸せな感触だなあと思いました。割れ目がないようにきれいに丸めるのがとても難しかつたのですが、楽しめたです。

餅は丸もちと、豆餅と、生餅を作りました。豆餅では、餅をこねた後に、塩を入れてから搗き、搗



(前ページからの続き)

きあがつたら最後に、黒豆を入れて、練り込みます。練り込むのは、松山さんが餅にまんべんなく広がるように、手早く混ぜていきました。キラキラ光った黒豆が、松山さんの手で、練りこまれていくのが、なんだか手品を見ているようで、すごく感動しました。

### ■松山さんのお話

昼食は、搗きあがつた餅を、ゲストの方と一緒にみんなで頂きました。その時に回すみんなのコメントも、嬉しい気持ち、幸せな気持ちで溢れています、お餅はすごく



美味しくて、本当に幸せな食事だなあと思いました。コメントが松山さんの番になつた時、私のことを話して下さつた時は、すごくビックリしました。松山さんは、去年と比べて、私が心も身体も大きく成長した、と仰つて喜んでくださいました。そんな風に言われると、確かに去年、私は楽しい空気の中に入つていけなかつたし、体力もなくて、杵を振り上げるのも大変だったことを思い出しました。松山さんは、一年前のお餅つき以来の再会でしたが、去年のことまで覚えて下さつていて、本当に嬉しくて有難かつたです。松山さんの優しさに胸が一杯



永禮さんが作つてくださつた、なのはなファミリー友の会から広がつたご縁です。みんなが、来たいなあと思うなのはなで、生活させてもらえて、私は幸せだなあと思い、これからも私たちがそんな温かい世界を繋げ、広げていかなればいけないなあとthoughtいました。

前川さんは、去年初めて来て下さつて、今年は二回目だそうです。が、今年は有休をとつて来て下さつたそうです。去年、餅つきに参加して、また来年も来たいな、と思ってくださいたことが、本当に嬉しくて有難いことだなあと思いました。

### サンタクロースからのプレゼント



クリスマスの朝、なにかとくべつな気配に胸を躍らせて体育館へ行くと、リボンがあしらわれた、かわいいカーディガンが！ それにお似合いの色、お揃いの暖かいカーディガンです。



## 門松作りの一日

この

二〇二六年。楽しかった年末年始も終わり、今年も新たな気持ちで頑張っていきたいです。

少し、時間は遡つて、十二月二十六日のこと。この日は、朝からパラパラと雪が降つていて、午前中の作業が始まるときには吹雪になつっていました。

私は一日、門松作りをしました。須原さんと、さくらちやんと三人での作業でした。もちろん初めて門松を作りました。初めに須原さ

梅や南天、シダ植物や笹を飾るということを教えてもらいました。よく考えてみたら、あまりじっくりと門松を見たことがなかつたなと思いました。それから去年は一メートルの高さの門松を作つたと聞いて、そんな大きさで作ることができるのも、なのかなうではという感じがして、すごいなど思いました。

笑い竹

「門松作りの日が、こんな天候に  
なるなんて）何か悪いことでもし  
たのか」  
さんは竹を取りに竹藪まで歩い  
ていきました。吹雪のなか、須原  
さんに、

なるなんて）何か悪いことでもしたのか」  
と言われましたが、私は吹雪の中でも門松作りをできることがどうもうれしかつたです。

竹藪の中に入ると、高い竹がたくさん密集していて屋根のようになつていたので雪が降つてこなくて、別世界に入ったように感じました。さくらちゃんから、竹の節目が白くなつているのが今年の竹ということを教えてもらつて、ちようどいい太さでまつすぐ上に



割れないようにきれいに斜めにこぎりで切っていくのがとても難しそうでした。その時、須原さんとさくらちゃんが、

「何の専門用語だろう?」

わった断面を見て、一瞬でどういう意味だったのかを理解しました。竹を斜めに切ると、切れ目の部分の長さによって中の節の幅が変わつて、三角のお口ができているよう見えました。どんどん竹を切つていって、お口がたくさん並んでいくのがとてもかわいくて、みんなも思わず笑顔になりました。

(次ページへ続く)



(前ページからの続き)

最後の竹を切ろうとなつて、いきなり私も出番がやつてしましました。初めは須原さんにやつてもらいたい、私ものこぎりで途中から切らせてもらいました。「のこぎりは引くときに力が働く」と聞いて、引くのを意識して頑張つて切りました。難しかつたし、腕が結構きつかったけれどいい経験になりました。

切れたら、三本を紐でくくつて、軸の完成です。

### ■着々と

ここからは午後に入つて、午後からはつばめちゃんも来ててくれて作業をしました。次は、土台作りです。大きな桶の側面に、桶の表

面が見えないように黒いシートを張り、その上から桶の高さに合わせて切った竹を縦に四等分して、

バインド線で固定しながらどんどん並べていったのですが、やつとド線が緩んでお花が咲いたみたい

そのあとバインド線できつく結びなおして、上から黒い紐でバインド線を隠しました。その時に、さくらちゃんから、縁起がいいと言われている「男結び」のやり方を教えてもらいました。やり方は簡単で二度、真結びをするのです

が、結ぶときに上にくる側が二度とも同じになるように結ぶと結び終わりがきれいに左右対称になります。今回、門松作りではすべてその結び方でやつていきました。なのはなでは作業によつていろんな結び方を使い分けっていて、もつと覚えて正しく使っていきたいな



そのあとは、材料集めに行きました。初めに玄関にさつき完成した土台をおろしてから、須原さんとつばめちゃんチームが笹の代わりに竹の葉、シダの葉、さざんか。私とさくらちゃんと、途中でお手伝いに来てくれた五歳のゆりちゃんが南天、松、梅。二チームに分かれて集めることになりました。材料集めの旅がゆりちゃんも一緒にとても楽しかつたです。南天は、

さくらちゃんがとつておきの場所がありました。その間に須原さんがきて、お宝発見みたいな冒險をしていました。どの植物も立派ですぐ近くでこんなに広がっているのが見えた瞬間、まるで宝発見みたいな冒險をしている気分になりました。どの植物も立派ですぐ近くでこんなに広がっています。南天がたくさんありました。私はつばめちゃんの美的センスに任せながら、アシスタントとしてやつていって、葉牡丹を正面に植えてから、バックの植物たちを色や形のバランスを考えて挿していくのがとても難しかつたです。私は、小学校の時に学校のクラブで生け花をやつていたのですが、その時の難しさを思い出しました。私は、一人で試行錯誤しながらやつていけたことが楽しめたです。完成したものは左右でそれぞれ違ひが出て、それもまたきれいでした。

完成したものは左右でそれぞれ違ひが出て、それもまたきれいでした。



OKでしょ」と言わされて、「あー、違うよー」と言われて頭が「？」になつてしまつたのですが、その後、「桶を取つて」と言つたので、桶を取つて、「桶を取つて」と言つたので、桶を取つて、「あー、OKでしょ」と言われて、「あー、

そしてついに土台の中に軸とな



### ■愛弟子にしてもらえたら…

る竹を入れて基になる部分が完成しました。その間に須原さんがきれいな葉牡丹も買ってきてくれました。

さくらちゃんがとつておきの場所があると教えてくれてワクワクしながら向かつて、南天がたくさん広がっているのが見えた瞬間、まるで宝発見みたいな冒險をしていました。どの植物も立派ですぐ近くでこんなに広がつているのが見えた瞬間、まるで宝発見みたいな冒險をしていました。どの植物も立派ですぐ近くでこんなに広がつているのが見えた瞬間、まるで宝発見みたいな冒險をしていました。

す。正月のおめでたい雰囲気が出て一気に玄関がはなやかになったなど思いました。

そのあと余った材料を使ってゆりちゃん用のミニ門松も作りました。ゆりちゃんが竹に顔も書いてくれて、とてもかわいくでき、のぞみちゃんも喜んでくれたことが私もうれしかったです。

この日は、一日でたくさんいろんなことを経験しました。初めて知ること、見ることだけで、なのはなに来なかつたら経験するこ

とのなかつた出来事を経験させてもらえる毎日が本当にうれしいです。私を建築係としてぜひ須原さんとさくらちゃんの愛弟子にしてもらえたらしいなと思います。

今年も始まつてまだ少しですが、楽しみなことがたくさん待つていることがとてもうれしいです。みんなとの時間を大切にして、今年は誕生日占いで言つてもうつた「開拓者」という言葉を目指して積極的に活動して、いろんな道を切り開いていけるように頑張つていきたいです!!



## 十二品目のおせち作り！

### 白熱のきんとん練り

ほし

新年を迎えるために、欠かせないのは、おせち料理です。私は、おせちをみんなと作る時間が好きで、この時を楽しみに待っていました。

私のチームは、栗きんとんを作りました。

前日から、みんなが材料を用意

してくれていたり、下処理をしてくれてたりして、調理当日、家庭科室に入ると、同じチームのこ

のちやんが、「待つてました！」と迎えてくれて、そのことがすぐ嬉しかつたです。

私が合流した時には、芋は茹でられていて、これから、砂糖と塩

を合わせ、練る段階へ入るところでした。

きんとんには、今年、なのはなで初めて育てた紅あずまだけが使われており、鮮やかな黄色をしていて、おせちに入れても、映えるだろうな、と思いました。

おせちづくりには、河上さんが来てくださいり、おせちづくりでの大事なポイントなどを随所で教えてくださいました。

最初は、三人で木べらを持って、ぐるぐると回していくところ、河上さんが助言をしてくださいました。

練るときは、全体を回さないといけないから、できるなら、一人で練つたほうがいいよ、と教えてくださいました。

そのことを聞いて、一人できん

とんを練るとなると、かなり力も体力も必要になつてきます。

そのとき、そばにいたりゅうさ

んが、「僕、やってみるよ」と木べらを手に。

両手でヘラを持ち、思い切り力強く鍋全体をグルグルと回していく

私も、十五秒混ぜたら、次の

人、とりゅうさんが次に回してくれました。

次には、ここちやんが混ぜて、ゆうはちやんが混ぜて、と交代して、それが、物凄くテンポが良くなつてきました。

自分が混ぜた時は、かなり、力も必要で、りゅうさんのようには混ぜられなかつたけれど、足を肩幅以上に開いて、回すと、力が込めやすく、コツをつかんできた感

じがしました。

「一、二、三……十五！」

「次!!」

と、まるで、トライアスロンをしているかのような空気と盛り上がりました。

他のチームからも、えつこちやんやなつみちゃんや、相川さんも来てくださり、全員で交代していました。

みんなが息を止めて、練つていました。

みんなの顔は、赤いけれど、爽やかな表情が浮かんでいました。

きんとんづくりは練るのに苦戦して、一時間以上かかっていた年もあつたようでしたが、みんなと全力でつないだ白熱のきんとんの練りで、約半分ほどの時間で、良

く嬉しかつたです。

（次ページへ続く）





(前ページからの続き)  
い艶になつていきました。  
河上さんも「これで、良い感じ  
だね」と話されていました。

みんなの全力が籠つたきんとん  
は、絶対に美味しいだろうな、と  
思いました。  
この日に至るまでも、他のチー  
ムのみんなからも、煮しめを作  
る。



台所ではブリの照り焼きなどの調理も！

ときには、相川さんが人参の飾り  
切りをしてくださったということ  
や、叩きごぼうを作る際、ごぼう  
を叩くみんなが力強くてかつこよ  
かつた話を聞いていたり、しなこ  
ちゃんがぶりの照り焼きを焼いて  
くれていたり、それぞれの場面で、  
嬉しい気持ちや温かい気持ちが生  
まれて、みんなの気持ちが籠つた  
おせちづくりだな、と感じました。

嬉しい気持ちや温かい気持ちが生  
まれて、みんなの気持ちが籠つた  
おせちづくりだな、と感じました。

### ■食べてくれる人を想つて

大晦日、おせちをお重に詰める  
時間も大好きで、嬉しい気持ちが  
溢れていました。

なるちゃんが、

「同じ色が隣り合わせにならない  
ほうがいいんだよね」

と話してくれて、特に色味を意  
識して詰めていくことにしまし  
た。

ミックに南天が飾られているもの  
があつたり、栗きんとんの上に南  
天の実が二つ乗つて目のよう  
なつてている可愛らしい見た目のも  
のがあつたり、それぞれみんなが  
気持ちを込めて詰めてくれている  
のを感じました。

こうして、なのはなで、お正月  
の文化や伝統を経験して、つない  
でいけることが、恵まれていて、  
ありがたいことだと思いました。

元日におせちを頂いて、「今年  
も、良い一年にできますように」  
という新たなけじめで、朝を迎  
られました。おせちづくりを通し  
て、豊かな気持ちを味わうことが  
できました。

ときには、相川さんが人参の飾り  
切りをしてくださったということ  
や、叩きごぼうを作る際、ごぼう  
を叩くみんなが力強くてかつこよ  
かつた話を聞いていたり、しなこ  
ちゃんがぶりの照り焼きを焼いて  
くれていたり、それぞれの場面で、  
嬉しい気持ちや温かい気持ちが生  
まれて、みんなの気持ちが籠つた  
おせちづくりだな、と感じました。

自分の詰めたおせちが、誰にわ  
たるかは元日の朝まで分からなく  
て、相手の人が心地よく新年を迎  
えられるように、と気持ちを込め  
ながらおせちを詰める機会があり  
がたいな、と思いました。

それぞれのお重には、ダイナ  
ミックに南天が飾られているもの  
があつたり、栗きんとんの上に南  
天の実が二つ乗つて目のよう  
なつてている可愛らしい見た目のも  
のがあつたり、それぞれみんなが  
気持ちを込めて詰めてくれている  
のを感じました。

自分で詰めたおせちが、誰にわ  
たるかは元日の朝まで分からなく  
て、相手の人が心地よく新年を迎  
えられるように、と気持ちを込め  
ながらおせちを詰める機会があり  
がたいな、と思いました。

自分で詰めたおせちが、誰にわ  
たるかは元日の朝まで分からなく  
て、相手の人が心地よく新年を迎  
えられるように、と気持ちを込め  
ながらおせちを詰める機会があり  
がたいな、と思いました。

エビのうま煮、ブリの照り焼き、紅白なます、赤カブの千枚漬けに、叩きごぼう。

伊達巻き、田作り、紅白かまぼこ、煮しめ、きんとん、数の子、黒豆の煮豆。

チームで作った料理をお重に詰めました！ コンサート後から、大掃除や年越しの準備をして駆け抜けた大晦日。みんなで年越し蕎麦をいただいたら、紅白歌合戦が始まります！





さあ、仲間と一緒に全力ステージ!!

# NHF紅白歌合戦

かのん

大晦日の夜と言えば、NHF紅白歌合戦！ 紅白歌合戦、それもなのはな版です！

一週間のあいだ、準備や練習を重ねてきて大晦日の夜が本番でし  
た。

本当に準備の時間があつて、これまでで一番と言つてもいいほど準備の過程がすつごくすつごく楽しかったです（笑）

ちやんでした。  
何かに縛られるとか、せかせか  
する、ドタバタするとか、そうじや  
なくて、お互いが自然体でのびの  
びとしている、もしも誰かが困つ  
ていたらお互い助け合い、支え合  
う、誰か一人が輝くとかじやなく  
て、お互いがキラキラしていて本  
當に最高なチームでした。

みんなが同じ気持ちで、同じチームになつた時から一緒に手を繋いで横並びで一緒に走り、紅白本番までいった！私はそういう感じがしました。

自分がこんなにものびのびと自然体でいられる場所があつて、自然体を受け入れてくれる仲間がいる事が本当に幸せです。

今回の紅白や、この一年間で、なのはなファミリーが、自分がのびのびとして自然体でいられる場所になつていて、私を受け入れてくれる仲間がいることに気付きました。

私はなのはなに来る前、これが自分の自然体だと思つていたけれど、その時の自分は自然体じやなかつたこと、本当の心の底からの自然体でありのままでいられるという事は、お互いがありのままを受け入れて、かつ支えあい、心がのびのびしていくだけで気持ちが良い事だつたんだ！ ということを知りました。

そういう気持ちを教えてもらいい、気づかせてもらったからには、次は自分が誰かに、ありのままでいられる場所があること、ありのままの自分を受け入れてくれる仲間がいることを伝える側、包み込む側になります。

それを伝えられる人、誰かにとつてそんな存在になれるように、自分も人を受け入れる気持ち、それをちゃんと磨いていこう。そ

う思いました。

いう事は、お互いがありのままを受け入れて、かつ支えあい、心がのびのびしていくだけで気持ちが良い事だつたんだ！ ということを知りました。

自分がこんなにものびのびと自然体でいられる場所があつて、自然体を受け入れてくれる仲間がいる事が本当に幸せです。

今回の紅白や、この一年間で、なのはなファミリーが、自分がのびのびとして自然体でいられる場所になつてること、私を受け入れてくれる仲間がいることに気付きました。

私はなのはなに来る前、これが自分の自然体だと思つていたけれど、その時の自分は自然体じやないかつたこと、本当の心の底からの自然体でありのままでいられると

たくさんつた、閻魔様のお兄さん!?（りゅうさんでした）（笑）。  
前を向いてくれるだけでも面白  
かつたり、話し方も素敵で、一発  
目から笑つてしましました（笑）。  
それはみんなも同じで、みんな  
の笑い声がバツと音楽室たくさん  
に聞こえる瞬間が嬉しい気持ちで  
いっぱいになりました。

## ■幕が開いて

## ■幕が開いて

よーーし！ 午後七時からは、

## 紅白歌合戦の始まりです！

さんチーム！

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)  
 何が始まるんだろうとわくわくしていたら、ドアがガラッと！  
 ひろこちゃんが、にこにこしてト  
 ラさん」というチームでした。

わいくて、凄く素敵でした。  
 オープニングが終わると、紅白  
 対決がはじまります！！  
 最初のチームは、「虎・寅・  
 うさぎ」というチームでした！  
 その衣装がまた新しい感じでか  
 ら、自分の中の困ったところを  
 虎やうさぎの動物になぞらえて劇  
 にしている姿が凄く胸に刺さりま  
 した。

心の中の感情の起伏が激しいこ  
 とを虎にたどえたり、空気がが  
 読めずマイペースすぎて自分が浮



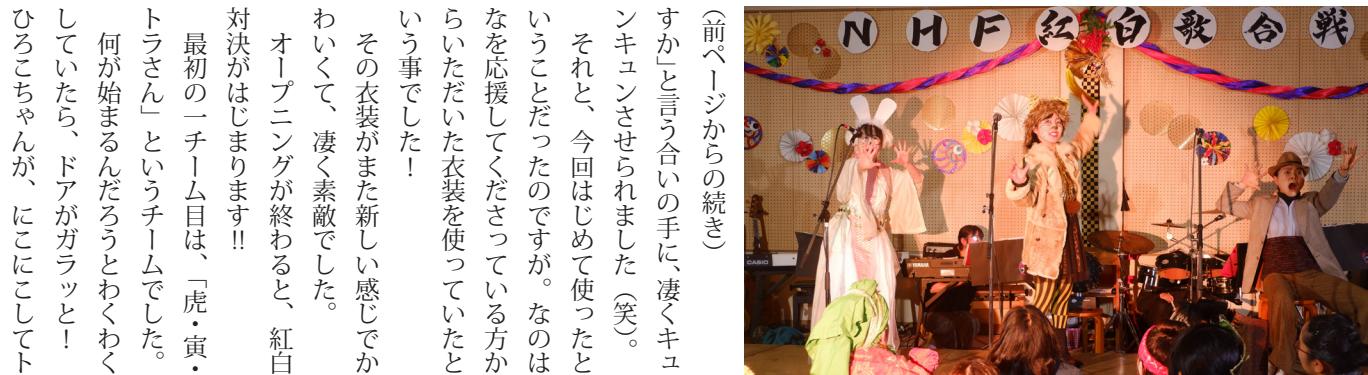
二〇一五年は漢字一文字に例えた  
 ら、どんな年だったかというイン  
 タビューに一人ひとりが答えまし  
 た。それも聞かせてもらっていた  
 のですが、漢字一つの文字でもた

よし！ 紅チームに対する白  
 チームは『アニマル』チーム、ゲ  
 ストの相川さんも入ってくださつ  
 たチームです！

すか」と言う合いの手に、凄くキュ  
 ンキュンさせられました（笑）。

それと、今回はじめて使つたと  
 いうことだつたのですが。なのは  
 なを応援してくださつている方か  
 らいたいた衣装を使つていたと  
 いう事でした！

その衣装がまた新しい感じでか  
 ら、自分の中の困ったところを  
 虎やうさぎの動物になぞらえて劇  
 にしている姿が凄く胸に刺さりま  
 した。



で面白くて、笑いが起こつていま  
 した。そのひとはさすらいの虎さ  
 んでした!!

と思ったたら、またもやドアがガ  
 ラッピ。心に虎を飼つてているなな  
 ほちゃん、かわいいうさぎ（ゆり  
 ちゃん）が登場しました！ その  
 姿が凄く可愛くて、癒されたなど  
 思います（笑）



成長したいことや自分の課題をこ  
 の紅白にのせて笑い飛ばせる、捨  
 てられるなどと思いました。さすが  
 はなの紅白で、紅白のいいと  
 ころで、好きなところだと改め  
 て思い、さらに紅白が好きになっ  
 た瞬間でした。

今回は出番が終わると、  
 二〇一五年を漢字一文字に例えた  
 ら、どんな年だったかというイン  
 タビューに一人ひとりが答えまし  
 た。それも聞かせてもらっていた  
 のですが、漢字一つの文字でもた

■可愛くて残念な動物たち！  
 よし！ 紅チームに対する白  
 チームは『アニマル』チーム、ゲ  
 ストの相川さんも入ってくださつ  
 たチームです！

まさか、またカード親父に会え  
 ると思っていなかつたので凄く嬉  
 しかつたですし、よつさんも可愛  
 くて、もうドキドキでした。

私は今回の紅白でデュエルとい  
 うゲームのことを初めて知つたの  
 ですが、そのリアル版をやつてくれ  
 ました！

よつさんが、カードを引くと、  
 カわいくてピンクなダチョウさん  
 （さとみちゃん）がドアをガラッ  
 と開いて走り込んできて、本当に  
 よつさんのカードの通りに召喚さ  
 れたようでした！

召喚された後に、ダチョウさん  
 やよつさんが、ダチョウについて  
 読めずマイペースすぎて自分が浮

いていることに気づけない、とい  
 うことを行なうことをほんわかしたうさぎにた  
 とえて、そんな要素を捨てて猫に  
 なります！ という流れが凄く感  
 动的で胸がいっぱいになりました。

なのはなでだからこそ、自分の  
 成長したいことや自分の課題をこ  
 の紅白にのせて笑い飛ばせる、捨  
 てられるなどと思いました。さすが  
 はなの紅白で、紅白のいいと  
 ころで、好きなところだと改め  
 て思い、さらに紅白が好きになっ  
 た瞬間でした。

くさんの気持ちが含まれている。  
 くさんの気持ちが含まれている。  
 くさんを聞いただけで、面白  
 いになりました（笑）。

大きく最初に言わせてもらう  
 と、カード親父（ゆきなちゃん）、  
 カードを扱っている問屋のよつさ  
 ん（よしみちゃん）がでてきて、  
 カード対決、デュエルをするとい  
 うような物語でした。

私は今回の紅白でデュエルとい  
 うゲームのことを初めて知つたの  
 ですが、そのリアル版をやつてくれ  
 ました！

(前ページからの続き)

の豆知識を具体的にそれも面白く説明してくれていて凄くわかりやすく、勉強になりました（笑）

長所を言つたあとに、

「ですが、この奇跡のダチョウには、残念な部分があります。それは、」

というように急に照明も赤になり、その動物の致命的な弱点が明かされます。

動物について知つていく時間もまた面白くて好きでした。

具体的な例つて凄く面白い、動物つて面白い、世界つて広い！

そう思いました。

次は、カード親父の番！ カードは、「上野動物園のパンダ」！

可愛さでした（笑）。

そして次はパンダさんの説明を教えてもらい、衝撃的な事実がありました。

パンダは慢性的な栄養不足の状態で生きていて食料である笹を大量に食べているがそのせ

る日が一年のうち二日しかない、などということを初めて知りました。自分の中では、衝撃的事実で



ダが自分のことを「可愛いは最強！」と言つて前向きであるのがまた面白かったです。

こうした対決や、動物の具体的な例が面白くて好きだったなと思います。

今回紅白に初出演の、相川さんがいらつしやいました！

相川さんが変身していたのは靈長類の中で最速のパタスです！

パタスモンキーという種類のサルがいることもはじめて知りました。

パタスモンキーさんの衣装が凄くかわいくて個人的に好きでした（笑）。それに、相川さんにも凄く似合つていて素敵だなー！ と

思つっていました。

「あれ！ カードの裏に何か書いとある！」

という展開で、カードが裏返った瞬間、涙が溢れそうになりました。

「優しい世界を築く人になる」というようなカードや、「心をオ



最後にはどうとう、カード親父がカード屋をやめるということになり、カード親父が自分で売れなり、カードを引き、それならという

ことでその場にいるアニマルさんもカードを引く！ という展開

もカードを引く！ という展開で、クライマックスに近づきました。

その引いたカードの最初は、自分がカーディーを引く！ という展開

のですが、

分の良くない点だつたり、マイナスな運命のカードなのかなと思うのですが、

て、そのチームならではの物語がステージの上でどんどん広がつていきました。

私が特に印象的に残っている

チーム二チーム目は、「ホマイ姉妹」です！

最初、舞台に出てきたときのオーラや、衣装が、アフリカのようない装ですつごく素敵でした。ホマイ姉妹さんが入ってきて、最初に皆が集まりポーズが決まつた時に、みゆちゃんが、コンサートでも閻魔大王として言つていたみたいに、観客のみんなを見て「ちょっと多いな」と言つていて

ところも面白くて、おもわず笑つてしましました。それぞれの珍工ピゾードをおもしろく劇にしていて、それがまた素敵で、それぞれ

## ■ホマイ姉妹



二人の女性が困っていることをそのままのお店で隼人さんや、しなこさんと話すという展開で、お店は癒しの場になっているということでした（笑）。

実際に、ひろちゃんだったら、結婚するよしぇちゃんにサプライズをしようということを、お仕事組さんに伝えようと連絡をしてみたら、がーーん。

よしぇちゃんにもサプライズの内容をメールでおくつてしまつて、いたというようなことをリアルに

劇にして表現している姿が凄く面白くて、リアルで、たくさん笑いました（笑）。

それに、そのことを隼人さんに相談したときの隼人さんのしゃべり方や雰囲気が独特で、肯定的にお腹が痛くなるぐらいまで笑了。

それに私も、癒しの場「HAYATO」に行ってみたい、なんて思いました。

お次の、紅チームは、「ドキドキ私たち「7(なの)ちゃんねる」の出番です！

緊張しすぎてしまい、前のチームのインタビュー中に音楽室の外に出で気持ち作りをしていました。その時凄く緊張していたけれど、この短い期間で一緒に一つの小さな物語を作ってきた仲間と、

隼人さんはあるお店をやつていました。物語をざつくり言うと、

それは、コンサートの中で出てきた脇役、車田隼人さんのその後の物語でした!!!

隼人さんはあるお店をやつしていました。物語をざつくり言うと、



よし！ 楽しむぞ！ 四人で最高な物を作るぞ！ という気持ちになることで、緊張が解けて楽しめた（笑）。

本当に同じメンバーのまなかちゃんほのかちゃん、つばめちゃんが大好きだ!!! という気持ちで胸がいっぱいでした（笑）。

この数日間のことすべて出して、みんなを思いっきり楽しめよう！ そろそろ出番だ！

## ■不老不死サミット

今回、私たちの物語は、不老不死にまつわる人物や動物をテーマにしたものでした。

今回、私たちの物語は、不老不死鳥が恥ずかしかったけれど、みんなを楽しませるためなら恥ずかしさが飛んでいきました！

今回の練習や本番で、客観的に見たらどうかはわからないけれど、役になりきる、役の気持ちになり自分を捨てる気持ち良さを感じました。

それを面白くして、テレビ番組風に、不老不死のサミットを開催させてもらいました（笑）。

登場人物は、何度も灰から復活する、司会の不死鳥（私）。

女性の血を吸つて永遠を生きるヴァンパイア（つばめちゃん）。

間違えて人魚の肉を食べて永遠を手に入れた、鍛えまくっている八百比丘尼。

何度も再生して不老不死の効率大丈夫！ 楽しもう！ といつて四人でぎゅーーっ!! とできた時

時間が凄く幸せで暖かかったです。

客観的に見たらどうかは、ちゃんと何とか会話を返したりはしないけれど、空気だけで一緒に会話している、ついてきてくれている、そういう感覚が嬉しかったです。

それから、寸劇だからお客様は何か会話を返したりはしないけれど、空気だけで一緒に会話している、ついてきてくれている、そういう感覚が嬉しかったです。

（次ページへ続く）





白歌合戦という事もあり、歌を歌わせてもらいます！

『Too Much Love Will Kill You』がすっごく大好きなので、今回まさかの生バンドで歌わせてもらうことができて、本当にありがとうございました。嬉しい気持ちでいっぱいでした（笑）。

チームのみんな思いっきり、この曲を歌うのが気持ち良くて、泣けてきそうなほど嬉しかったです！！少しボーカルさんの気持ちがわかつたような気がして、また新しい体験もさせてもらえて、ありがたかったです（笑）。

曲の最後では、自分たちの作った替え歌やラップをできたこと、自分たちの気持ちを曲にのせられたことが気持ち良くて、ああ生きてるな！というような気持ち良さがありました。

（前ページからの続き）  
劇中では、ただの寸劇だけではなくて、自分たちの変わりたい点や、二〇二六年どうなっていくか！ということも込めさせてもらっています。

自分たちの気持ちを込めて、これからどうなっていくかという気持ちありでの紅白をさせてもらいました。からこそ、この機会に本当に変わっていました、そうしてより前に進む気持ちや、変わっていました。本当に大好きなイベントの一つです。

寸劇が終わつたころ、最後、紅

で、

「一人ひとりのキャラクターが立っていて良かった。それにキャラクターもそれぞれに合って意外と自分のことをわかつていたことに高い評価を置いた」ということを聞かせてもらいました。

その時おもわずびっくりしていました。

最初は、不死鳥のキャラクターは無理無理、と思っていたけれど、練習するうちに好きになつていていました。だけでも自分ではない、と思っていた部分も少しあつたので、まさかの合つていたということを客観的にお父さんから聞かせてもらいびっくりしたけれど、個人的にそれがすごく嬉しかつたです。

二〇二五年のそれぞれの失敗談を劇にのせて、のん殿が、二〇二五年におこしてしまった、失敗談を話し、だから、切腹じやた。

よし！私たちのチームに対しても白チームは、「なのはな藩」でした！

それがまさかのこれまでにない感じの時代劇!! 江戸時代にいるようなお侍さんがでてきていました。

ももか殿も、二〇二五年の失敗談を述べ、「一緒に切腹だあ！」となつていく展開で、またドアががらッと開いて同じようにえつこ殿がでてきました！

そこでえつこ殿も失敗談を述べて三人で切腹だと、なる前に千利休さんがおられました。そこでどうしたらいいかの答えが出るのか、という雰囲気にもつていきました。そこであつこ殿も失敗談を述べて、好きだなと思いました。

どうとう、最後は悲しい結末になるのかなと思っていたら、ここで、素敵な女性、超格好いいお侍さん、「まこと殿」が参りました。そこでまだまだ今からやるべきことはあるという前向きな答えをもらい、殿さま方三人は、死ねなり、『ナー・モア・ハリウッド・エンディングス』が始まりました！

それに、劇をする中で、みんなが演じるキャラクターも、演じているその人のことも、とっても大好きになり、理解が少しづつ深まっていくのを強く感じたなと思います（笑）。

## ■なのはな藩のお侍



あ！と言い切腹しそうになると、ドアが、がら！ ももか殿が登場しました。

ここまで展開でも、なにかドキドキハラハラしましたし、のん殿のリアルな演技がすごくおもしろくて、心がいい意味でくすぐられるような気持ちでいっぱいになりました。

ここまで

が演じるキャラクターも、演じているその人のことも、とっても大好きになり、理解が少しづつ深まっていくのを強く感じたなと思います（笑）。

最後にお父さんからのコメント

（次ページへ続く）

■パフォーマンスは続く！

次の紅チームは、「激しい奴ら」でした。

(前ページからの続き)

これまでにない時代劇に自分たちの気持ちを乗せて表現しているのはな藩さんたちの寸劇や歌が凄く胸に刺さったなと思いました(笑)。

それと！なにより！チームみんながお侍さんへアがすごく似合っていて、超・超・素敵でした(笑)もう可愛くてだきしめたい、そのようなかわいさで胸がいっぱいになっていました。

（前ページからの続き）

これまでにない時代劇に自分たちの気持ちを乗せて表現しているのはな藩さんたちの寸劇や歌が凄く胸に刺さったなと思いました(笑)。

（前ページからの続き）

これまでにない時代劇に自分たちの気持ちを乗せて表現しているのはな藩さんたちの寸劇や歌が凄く胸に刺さったなと思いました(笑)。



題名やメンバーからしてチームの色が濃くて、わくわくしていました。そしたらびっくり。このチームはジェスチャーを使い、二〇二五年のなのはなハイライトを全力で表現していました。その全力さやテンポの良さが好きで見やすくて面白かったです。

それに、題名で「お父さんのコンバイン」だったらならば本当にお父さんのコンバインをしている姿が、このチームさんのジェスチャーにかさなり景色が見えました。

激しく全力でやっているからこそ、見させてもらう側も楽しめて、江东でやつていていたからこそ、見させてもらえたなど思います(笑)。



敗を面白おかしく聞かせてもらう事で、つきちゃん、なつみちゃん、まみちゃん、りなちゃんに対しても嬉しかったです(笑)。

それにこのチームは本番のぎつりぎりまで、脚本をよりよく変えていつていたらしくて、その後の最後までよりよくして変えていくという、潔さがかつこいいなと思いました。

ポーンホーティスさんに対する白チームは、リトル・マリーでした！

まりのちゃんの阿弥陀様のような優しい笑顔に胸を打たれたり、ちさとちゃんの優しく暖かい笑顔やゆりかちゃんの、包み込んでくれるような笑顔、そして、リトル・マリー(まりかちゃん)もうこのメンバーがもうすづごくかわいくて、たくさんたくさん癒されました。

曲は『ヘ・メレ・ノ・リロ』。歌いながら、曲中でまりかちゃん達が思いつきり「I K I N Y E！」と言っている姿がすづぐ可愛かったです。それにまりかちゃんが凄く凄くかわいらしくて、その姿が愛らしくてかわいらしかったなと思います。

（次ページへ続く）

（次ページへ続く）

（次ページへ続く）

（次ページへ続く）



(前ページからの続き)  
ている声が聞こえてきて、そのギヤップやまりかちゃんの姿に元気をたくさんもらつたなと思います（笑）  
本当にかわいくて癒された時間でした。

### ■トリの舞台は……

最後の最後は！　お母さん、お父さんの対決でした！  
紅チームはお母さん！　白チームはお父さんの対決です！

まずは、お母さんの出演でした！　今回の曲は『お月さまほし』という素敵なお母さんとお父さんとの対決でした。私も今回、お母さんの出演を盛り上げる役として、出させてもらえたこ

とがすっごく嬉しくてありがとうございました。曲中、お母さんは見えないのですが、お母さんの声だけでも心の底から力強い気持ちをもらつたり、何か自分が清められていく、浄化されていく感じがありました。本当にお母さんやお父さんが表現する曲も大大大好き、そんな気持ちでいっぱいでした。

それのみんなの歓声もびっくりするぐらい、きやー！　といつていてみんな同じ気持ちなんだなと思つて嬉しかったです。

最後の最後に、お母さんのところへ集まり終わるシーンがあるのですが、集まっていくときに、お母さんと目があつた瞬間、本当に満たされた気持ち、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

紅チームのお母さんの次は、お父さんの登場です！

お父さんがミキサー席からステージに上がる時、さくらちゃん、さとえちゃんがエスコートしていく、周りのみんながきやー！　と言いお父さんに少しでも触りたそうにしている光景を少し離れたところから、客観的に見させてもらつていて、すっごく面白かったです（笑）。

お父さんの曲は『傘がない』です！　何度もこの曲をきかせてもらっているのですが、何度もお父さんのこの曲が大大大好きだなど思います。

お父さんの力強い声が胸いっぱいに広がり、自分にも勇気や強さをくれたなど思わせてもらいました。



た（笑）  
それに、原曲で合いの手はないのですが、なのはなのみんなで合いの手で、「お父さん！」「ケニー！」と叫んでいたのも何か楽しかったなと思います（笑）。

### ■仲間と理解しあう嬉しさ

二〇二五年最後の日、大みそか、人生の中で一番樂しかった大みそかになりました。

繰り返しになつてしまふかもしれないですが、今回の紅白歌合戦では自分が知らなかつた仲間の一面を知れたり、大好きな仲間に対して、理解が深まつた部分が大きかつたなと思いました。



本当に仲間と理解し理解し合う関係を作る機会があることが凄くありがたくて幸せだなと思いました。よし！　二〇二六年も「KIN YE！」の深い関係を築いていこう！　そして仲間と「KIN NHF」をつくつていこう！

大好きな仲間と二〇二六年も、さあいくぞ！　という前向きな気持ちで、二〇二五年紅白歌合戦の幕が閉じ、新しい年が始まりました。

# 新しい一年、今の幸せを胸に刻んで

## ——二〇一六年の元日——



「明けましておめでとうございま  
す」

お父さん、お母さん、家族みん  
なで食卓に並び、年に一度のあい  
さつをして迎えた朝。

NHF紅白歌合戦で一年の全て  
をさらけ出し、真新な気持ちで  
二〇一六年が幕を開けました。

みんなで朝食の席に並び、新年  
のご挨拶。大勢の家族と共に新し  
い年を祝うことができて、朝から  
心があたたかくなりました。

元旦の朝食は、おせちとお雑煮  
でした。十二品目がお重に詰まつ  
た豪華なおせちです。みんなで育  
てた野菜を使い、みんなで作って、  
みんなで詰めたおせち。おせちは

今まで買うものだと思っていて、  
作るという発想がなかったので、  
みんなで作れたことがすごく嬉し  
かったです。しかも市販のものよ



## ゆうは

りも品数が豊富で豪華でおいしく  
て。こんなにすごいおせちをみん  
なで作ったのだと思うと、誇らし  
い気持ちになります。

おせちにはひとつひとつ意味が  
込められていて、滋養もあり縁起  
のいいもの。それをみんなで作り、  
込められた気持ちが伝わるからこ  
そ、さらに大切で一口ごとにその  
有難みをかみしめることができま  
す。

い年を祝うことができて、朝から  
心があたたかになりました。



## ■抱負を胸に

朝食の後、みんなで食堂に集ま  
り、お父さんとお母さん、みんな  
に今年の抱負を聞いてもらいました  
が嬉しかったです。

年の想いの詰まつたお正月の朝食  
がなくして、なのはなで今年初めて  
いただきました。お出汁が透き  
通っていて、おいしくて、初めて  
いたくのに不思議と安心するや  
さしい味わい。きれいなお出汁を  
作る技術を受け継ぐみんなが、す  
ごいなど感じました。

お雑煮に入っているお餅もクリ  
スマスにみんなで搗いたもの。も  
ちもちとした触感と素朴な味で、  
口いっぱいに幸せが広がります。  
もち米や野菜などの食材を作った  
過程はもちろんのこと、調理をし  
てくれた方、配膳してくれた方、  
私たちの食卓に並ぶまでに携わっ  
た人たちの顔を思い浮かべること  
ができる、おいしい食事がいただ  
けることが、本当にありがたいこ  
とだなと思いました。

恥ずかしながらお屠蘇というも  
のを私は知らなかつたのですが、  
とても大切な文化を知ることがで  
きました。

(前ページからの続き)

研ぎ澄まされた清らかな空気を  
まとうみんなに、少し緊張しつつ  
食堂の中に入ります。

改めて新年のご挨拶をし、まず  
はお父さんのお話から。

二〇二五年のワインターコン  
サートにどのような感想をいただ  
けたか、そして二〇二五年はどう  
のような年だったか。それから、  
二〇二六年の展望について。

混沌とした世の中になつている  
今を私たちはどう考えるべきなの  
か。利己心から日々たくさんの悲  
劇がうまれてしまう世の中で、な  
のはなはどうあるべきなのか。

より良く発展していくために、  
A-Iの活用や桃づくりなどで次々  
と新しい試みに挑んでゆくお話を  
聞いてもらつたことで、より強  
い決意を固めることができまし  
た。

A-Iの活用や桃づくりなどで次々  
と新しい試みに挑んでゆくお話を  
聞いてもらつたことで、より強  
い決意を固めることができまし  
た。

私たち一人ひとりが高い志を  
もつて、なのはなで学ぶ利他心、  
気持ちを正しく持ち続ける限り、  
破滅はないだろうなど私は感じま  
した。

お話の後に、歳が上の順からお  
るのはな、社会の、新しい一  
年を作る一人であることを自覚  
し、気が引き締まりました。



父さんお母さんの前に出て具体的  
に抱負を言います。

私の大切な仲間であり家族であ  
るみんな。

その一人ひとりの抱負を聞かせ  
ていただき、思わず涙を流して  
しまいました。

みんなそれぞれ、自分の弱さ、  
苦しみがあり、それでもめげずに  
良くあろうと成長する姿勢を常に  
持ち続けている。

同じ気持ちで、高い志をもつて  
共に生活できる仲間がこんなにい  
るのだと思うと勇気が湧いてきま  
す。

抱負を聞きあう中で、お互にい  
くのだ、と感じました。

その新たな試みで成功するとは  
限りません。けれど、本当に意味  
がある、良い世界にしていくための  
行動ができていたならば、神様に  
も伝わり、大きく発展できる一年  
になるだろう、と。

おはなはな、社会の、新しい一  
年を作る一人であることを自覚  
し、気が引き締まりました。



河原地区の方面にも、いくつか  
なのはながお借りしている田んぼ  
があり、そこをさらに進んでいく  
と、諏訪神社が見えてきました。  
鳥居をくぐり、緑のトンネルの  
ような素敵なお参道を進み、本殿の  
前へ行くと神主さんがお祓いをし  
てくださいました。

それから、お賽銭をいれさせて  
もらい、御祈りをしました。

「幸せな一年を過ごせますように」  
毎年そんなお願いをしてしまつ  
ていただのですが、なのはなで過ご  
し、お父さんのお話をたくさん聞  
かせていただく中で、今年は違つ  
たものになりました。

未来に幸せを追い求めていて  
は、今が台無しになつてしまふ。  
目の前のことを大切にできず、い  
（次ページへ続く）

るく新年を祝うだけでなく、自分  
を見つめて、なのはなで生活する  
意味、これからどう生きていくべ  
きかを考えられた有難い時間でし  
た。



これまで初詣でお願いしてきたことは、まさにそんな間違った生き方の象徴的なものだつたなと思ひます。

今年は神様にお願いを言うのではなく、良く生きていく、魂磨きをし続けるという決意を宣言しました。

そして宣言したからには、いつも神様を見てくださつていると信じ、誰が見ていようと見ていまいと、誠実に謙虚に生きていかなければ

前ページからの続き)  
つも一人先走って空回り。それが  
苦しい原因だととも気が付かず、来  
ることのない幸せな未来を見つめ  
て目標を見失ったまま走り続け  
る。

いくつ わり、丁  
いきまし そして  
大木の下 世の中 見守つて  
そのた 炎をとも じられま  
その木 な気持ち

ればと改  
ができま  
正しい



困つたコマ回し!?

跳ねて喜んだ羽根つき!!

うたな

行委員であることを理由に練習をあまりしませんでした。ちょっとだけデモンストレーションしたときには（あ、これは苦手だ）と感じたのを、感じぬふりをしてしまつていた。ネコになりきれない私は（次ページへ続く）

いくつもあり、丁寧にいきました。そして最後の大木の下でお世の中の移り守つてきた。そのたたずみをともし続じられました。その木の下な気持ちにならなかった。

いなと思いま  
あたたかく見  
れど、受け取  
正しかど  
ができました  
ればと改めて

る社を一つひとつを、何度も宣言をして、立派な幹を持つ神聖なる社を一つひとつを祈りをしました。祈り変わりを何千年も大きな大きな木。まいから、永く命のける自然の威厳が感じました。

気を引き締めるこ<sup>。</sup>  
うかはわからないいは  
つてくださる神様が  
守つてくださればい  
す。

お正月遊び。なのはなに来るまで、私はお正月の伝統的な遊びをしたことがありませんでした。「どうして伝統文化を大事にする必要があるのか」という質問が集合で出たことがありました。そのときお父さんに、「伝統文化は、受け継がないと失われてしまう、失われたものは取り戻すことが難しい。失われるとときは、伝統文化に関わる心そのも

团  
か  
回  
し  
に

のもなくなつてしまつ」と教えていただきましたば、SNSを使ったアプリムをするとき、機械と向き合つた無心で遊んでいる、そ事にすべき心があるのかとると、考え込んでしまいますマ回しや羽根つきをはじめ伝統的な遊びには、その時がある意味があつて、込められて、一緒に遊ぶ相手が

んだ羽根つき!!

## ■お正月遊びがはじまる！

受け継ぐべき理由があるのだと思  
いました。

(前ページからの続き)

は、チームの役に立たなくては、と焦ってしまう気持ちがあります。そんな当時の私は、想像以上に楽しい経験ができるのをまだ知る由もない……。

## ■奇跡の名人戦！ コマ回し



まずはコマ回し。軸のしっかりと人、などの意味があつて縁起が良いということを聞いて、お正月にする意味がしつかりあつたのだと分かって、なるほどと思いました。ふみちゃんチームの私たちには、お父さんお母さんと一緒にチームでした。去年バズったお父



手回しゴマ・糸引きゴマ・木ゴマ・アルミゴマの四種がありました。ビュンビュンゴマぐらいしか触ったことがなかったので、バラ

さんのミラクルなコマ回しの動画を思い出しました。お父さんもお母さんもお正月遊びの達人で、お父さんお母さんがしているのを見ているだけでも楽しいです。



て、そなちゃんに教えているあゆさんのミラクルなコマ回しの動画を思い出しました。お父さんもお母さんもお正月遊びの達人で、お父さんお母さんがしているのを見ているだけでも楽しいです。

手回しゴマ・糸引きゴマ・木ゴマ・アルミゴマの四種がありました。ビュンビュンゴマぐらいしか触ったことがなかったので、バラ

エティーに富んだコマの種類には驚きました。面白そうだったので、私は手回しゴマをさせてもらいました。練習でやつてみると、意外



名人戦では、チームから四人ずつが投げゴマで出場しました。お父さん、お母さん、のぞみちゃん、ふみちゃんが出場した回。その時は訪れました。なんと、ボーナス得点の入る台の上でお母さんがコマを見事回し、それだけにとどまらず、続いてのぞみちゃん・ふみちゃんまで命中させたのです！

二回連続回すことができました。やつてみました。しっかりと紐を引く、できる人のストロークを真似する。何度も挑戦して、最後にはやつてみました。しっかりと紐を引く、できる人のストロークを真似

りました。ゆかちゃんは、最初は回らなかつたけど練習すると回り、さら

に回っている時間も伸びていつて、一緒にそれを喜べたのもうれしかつたです。

練習時間は、私の隣でゆうなちゃんやお母さんが木ゴマやアルミゴマを練習していました。ゆうなちゃんの成功率がどんどん高くなつていて、お母さんも簡単そくに華麗に回していました。なんだかその光景が楽しそうで、せつ

かくなので木ゴマもやつてみたく回しが神がかっていました。ゆう

でも同じチームのみんなのコマ（次ページへ続く）



違うチームですが、あけみちやんチームの挑戦も感動的でした。四人中三人が失敗してしまいましたが、もうあとがない……そんなプレッシャーを抱えたひろちゃんが、きれいにコマ回しを成功させた瞬間！ 成功した途端、チームメンバーがひろちゃんに駆けよつて、はしゃいで喜んでいて、敵チームだつたけどすごくうれしかったです。



■羽根つきの嬉しさ

そんなこんなで、ダメダメだつたけど楽しかったコマ回しが終了、続いて羽根つき大会へ。

羽根つきは、お父さんお母さん  
ペアの安定感に圧倒されました。

足の位置かほとんど動かなくて、二人の動きがシンクロしていて、羽根が毎回同じ軌道を通つていて。よし、自分もと思いやつてみると、羽根は思わぬ方向へとんでしまうし、相手のふみちゃんを毎回バレーボールみたいに振り回してしまった。ついで今回、折りこぼす

てしまつ。しかも今回新たに導入されたシステムで、人と人との



「 う もの。だんだんコツが分  
かってきて、ふみちゃんの打つリズムと自分のリズムが合ってくる  
のが分かって、崩れないテンポで十回以上続くようになりました。  
練習時間が終了、ついに試合へ。  
緊張で、手汗が出てきました。ホ  
イッスルが鳴つて、打ち始め。何  
度かサーブを失敗しました。でも、  
その回、ふみちゃんのフォローが  
あって、二十六回、私たちとして

お父さんに、アドバイスをたくさんいただきました。その中でも一番はまつた！と思つたのが、「羽根が羽子板に当たるまで、羽根から目を逸らさないこと」

間は三メートルという遠距離に、羽根を遠くへ飛ばそうと思うと強く打ちすぎてしまって、コントロールがとても難しいです。



A close-up photograph of a young woman with dark hair and brown eyes. She is looking directly at the camera with a neutral expression. A person's hands are visible, holding a brush and applying dark ink to her eyebrows. She is wearing a bright orange turtleneck sweater. In the background, another person in a pink shirt is partially visible, and the setting appears to be indoors with wooden paneling.

羽根つきの楽しみの一、勝つたときに相手チームにできる墨入れ。恐れ多いという気持ちもありませんが、人の顔に墨を入れると

ニコツとして、同じチームのみんなともうれしさを共有して、これが伝統文化の良さかもしけないと思いました。

戦では一回も落とさず六十三回。これには、やつている張本人も驚いて、飛び跳ねて喜んでしまいました。最後の回では、七十四回も続けることができました。身体ではないような感覚で、打っている最中もハラハラドキドキが続いていて、不思議な感覚でした。

用の台を持てたのが面白かったです。

墨入れのテーマは妖怪でした  
が、それを意識しなくとも、みんな  
の顔は妖怪のようになつてしまつ  
ていました。元日の午後は、  
とても楽しくあたたかくみんなと  
過ごせて、年始から幸せな気分を  
味わえました。企画してくれた実  
行委員のみんなに、ありがたいな  
と思いました。

た。コンサートでカードオヤジ役だったゆきなちゃんには、おやじっぽくちよび髭を書いてみました。お父さんが、墨入れタイムになつた途端に、意気揚々と墨入れ

いう行為はこの時しかできないこと。  
容赦なくさせていただきまし



# 獅子舞がやつてきた！

よしみ



新年を迎える、元旦の日に、いつもののはなることを応援してくださっている永禮さん始め、美作の国一宮 中山神社御祭禮神事保存会の方々が獅子舞を見せに来るのは毎年、なに来てくださいました。

保存会の方々が、二頭の獅子を持って来てくださり、片方は歯が金色で雄、もう片方は歯が雌だということを教えていただき、獅子にも雄と雌があることを知りました。保存会の方たちが、獅子の中に入つて獅子舞をしてくださるのですが、今年も何人か獅子の中に入つて一緒にやつてみませんかと声をかけていただき、まりかちゃんやゆうなちゃんと始



獅子舞を見せていただいたあとは、一人ずつ獅子に囁んでもらえたタイムでした。これもなかなかできない経験です。獅子舞に囁んでもらうと無病息災の効果がある

を見せに来てくださることが本当にありがとうございます。

保存会の方々が、六人の子が獅子の中に入つていて、こんな経験、絶対なかなかできないうなあと思い、見ていてもとても興奮したなあと思います。

獅子の顔を持つている一番先頭の人は、途中で二番目の人と入れ替わっていて、力のある男性が入れ替わるほどだから相当、獅子の顔を持つて獅子舞をするのは大変なんだと改めて思いました。本当に生きているように見えて、迫力のある獅子舞が見られて嬉しかったです。



そのあとは、これも恒例、新春イントロクイズを、永禮さんたちが準備してくださいました。なのはなのみんなからも大人気、私も大好きな時間です。



ことを思つてたくさん楽しいプレゼントを用意してくださる保存

ターレッジを聞いていました。正解した人は豪華景品もあり、た。最後に、私たちから保存会の方々に感謝の気持ちとして、ギター教室のみんなの『流れゆく雲』の演奏を聴いていただきました。みんな喜んでくださつていて嬉しかつたです。



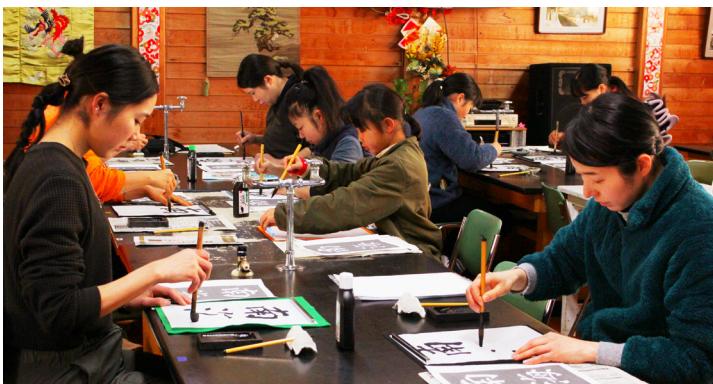
永禮さん、保存会のみなさん、ありがとうございました！

ようで、グルグルと周りながら全員獅子舞に囁んでもらえて嬉しかつたし、これで一年間健康で安全に暮らせるだうなあと想いました。

## ■暖かな時間

会の方々のお心遣いが本当に温かくて、ありがたいなあと想いました。個人的に、私もイントロクイズで正解することができ、永禮さんから手渡しで作業用手袋のプレゼントをいただきました。保存会の方が来られる前は私たちは羽根つきをしていて、みんなの顔は墨入れで様々な模様が描かれていたのですが、そういうことも、「たくさん負けたな」と温かく笑つてくださつて、嬉しかつたです。

最後に、私たちから保存会の方々に感謝の気持ちとして、ギター教室のみんなの『流れゆく雲』の演奏を聴いていただきました。みんな喜んでくださつていて嬉しかつたです。



「今」に向き合つて書く

書き初めの澄んだ時間

そな



新年二日目の午前には、書初めをしました。

に真似して、顔真卿の気持ちに倣  
います。

なのはなでは毎年、顔真卿の文字を書きます。顔真卿の文字といふのは、曲がったところがなくて、基本的にどの画も真っすぐに書かれています。その文字を一生懸命

お題となる文字「南海」。自分を離れて、手本の通りに書くようにします。



## 葉、過去を表現する言葉

空気が流れていきました。

そういう事を学んだように、抱負  
だつて、言つてしまえばちつぽけ  
なものなんだつて今は思います。

未来なんて誰にも分からぬことなのに、そこにとやかく言うのは

全部意味のないものになります。  
未来より、過去に、今に、目をむけて生きていないと、幸せにはどんどん遠くなる。

時間としては三時間近くあつたと思うのですが、時間があつとう間に過ぎてしましました。課題が三作品あつたというのもあると思いますが、私は時間が足りなくして、集中が切れるなんてことも全くなくて、本当に邪念が振り落とされるような、清らかな時間でした。

よく昔から、誕生日の時も、卒業とか、入学とか、そういう節目で、抱負とか目標について聞かれる事が多かつたです。

目標を持つことはすごく大事だし、目標は常に持ち続けないといけないけど、その質問をされる度に、その質問に答える度に、胸が少しきゅつと締め付けられるようなな気がありました。今のまではいけない、自分が求めるべき未来はどんなものだろうか、期待される答えを探していました。

だけど、今回のコンサートで、「幸せ」は未来を表現する言葉ではなくて、過去に向かって言うのです。

The image shows a classroom wall decorated with Japanese calligraphy and hiragana characters. On the left, there are several vertical scrolls of calligraphy, each containing the characters '南海' (Nankai). Above these scrolls, there is a small red seal. To the right of the scrolls, there is a row of hiragana characters: 'と', 'う', 'い', 'す', 'ま', 'す'. Below these characters, there is a row of smaller, more detailed calligraphy samples.

の二チームに分かれて行いました。  
静寂の中で、ひたすら自分の字と、自分自身と向き合う、澄んだ

書初めの時間は、食堂で書くチームと、リビングで書くチーム

向き合う時間が、本当に澄んでいました。ひたすら静かな空間で、自分の字と、自分とひたすらこんなに楽しいなんて、思いませんでした。ひたすら静かな空間で、こういう時間つて大事だなと思うと、書道のある暮らしつていななんて思いました。書道部を作りたいという話も少し出たので、私もブツシユして、書道部ができたら入部したいと思うばかりです。

# 初雪・真剣 百人一首

ほのか



そのとき、いきなり雪が激しく降り始めました。今から百人一首大会が、行なわれます。部屋へ行くと、そこは別世界でした。窓のそばには日本人形や、鶴、亀、松の飾りが飾られて、壁一面には着物の帯で作った飾り、紅白の模様が貼り付けられて、窓の外は銀世界でした。

いつも寝ている居室とは思えないほどの美しさでした。窓の外はいよいよ本格的に寒くなるうとしているけれど、みんなでぎゅっとひとつの部屋に集まっていると、お互いから熱を感じるような暖かさを感じました。

オープニングは、ウインターコンサートにも登場した、ゆきなちゃんのカードオヤジと、よしみちゃんの扮する「よつさん」はじめとする実行委員さんの寸劇でした。

チームに一枚ずつ配られたのは、「果たし状」です。ゲームを行なう会場が書かれていて、獲得した点数を記録できる表になっていました。

ぱつとよしみちゃんが帽子を外すと、坊主のかぶり物を被つたよしみちゃんの頭が露わになりました。最後には、坊主めぐりも待つていています。

チームに一枚ずつ配られたのは、「果たし状」です。ゲームを行なう会場が書かれていて、獲得した点数を記録できる表になっていました。



他ベテランお姉さま集うチームで、対するは自分をはじめ百人一匹。気持ちで負けない……！ 果敢にかかっていきました。

上の句が読まれ、五秒以内に札が取られています。相手チームのその素早さ、反応速度に感動しつつ、こちらも諦めずに札を取ろうと努めました。

下の句のひらがなをきいて、瞬発力勝負で取りに行きます。たまたまぐれで札がとれたときは、すぐ嬉しかったです。

相手チームのえつこちゃんが、読み手に回ってきました。すると、札を一枚引いてそれを目視するやいなや、「はあっ！」と声が漏れています。

次によまれるのはきっと、百人一首の中でもメジャーな和歌、誰もがこれなら取れる、と言う魔法の札。その札だけは、毎度争奪戦になります。



## ■散らし取り

まず散らし取り第一試合目は鶴の間に、のんちゃんチームとの対戦でした。

一発目から強豪との試合となりました。のんちゃんは、百人一首を全て暗記している……！ その

相手チームから、「もう、えつちやん！」という仲間われの声が出つつ、笑いと真剣さの中、試合は続きました。

一目散に「からくれないにみづくくるとは」を取りに行き、見事それは的中していたのです。

よし。

続いては、青冠。  
私はピンだつたため、実行委員  
のよしみちゃんが一緒にゲームに

## ■合図にご注意

（結果は七五好二五の  
んちゃんチームの勝利。圧倒的で  
した。ですが頑張つたで賞を取つ  
たと思いました。なぜなら、○鳥  
ではなかつたから。  
勝つても負けても、すごく楽し  
かつたです。月に一度のセブンブ  
リッジも楽しいけれど、月に一度  
の百人一首でも、楽しいだろうな  
と思いました。



参加してくれました。

対角線上に座るは、しなこちゃんと一緒に協力して、場を読み合います。

と縦鳥帽子のことを伝えなかつたけれど、うつかり目を縦に泳がせてしまいました！

それでもその回は勝利することができました！ しなこちゃんがまちちゃんからの坊主集中攻撃に遭つていましたが、それがかえつておとりとなり、わたしとよしみちゃんのペアがスムーズに上がるることができました。青冠で勝ったことは初めてだつたので、とてもうれしかつたです。

## ■運がよかつたー

最後は坊主めぐりー

場の中央に置かれた山から、順

「……蝉丸!!!!」

ゲームが中盤に差し掛かり、ついに、あの札が引かれました。

A group of people, including children, are sitting on a tatami mat in a traditional Japanese setting. They are all wearing bright orange sweatshirts. The people are smiling and laughing, creating a joyful atmosphere. The background shows traditional Japanese elements like sliding doors and a small cage.

これはかりは運が左右するゲームで、最後までどうなるかわからぬ。なつちゃんとペアになり、札を引いていきました。殿……姫……坊主！　とみんなが輪になります。着々とカードを引いていきます。坊主を引いた人には、坊主のかづらが回ってきます。

場の中央に置かれた山から、順に札を一枚ずつめくって、絵柄を見ていきます。殿（どの）なら一枚もらえるだけ。姫なら、もう一枚引ける。坊主なら、すべての持札を場に献上！ 次に姫を引いた人が、ごつそり、その札をもらひえます。

なつちゃんにどちらが良いか聞  
き、なつちゃんが、「右でいこう  
とか、「左でいってみよう」と言つ  
てくれた方をわたしが引きまし  
た。

は、姫でした!!

(前ページからの続き)

会場から歓声が上がり、なつちゃんどわたしはその莫大な力一ドを贅沢にも全ていただきました。

さて問題はここから。

一度得たとしても、また坊主を引いてしまつたらそれを誰かに明け渡すことになる。しかし皆はそれが渡しておきたいのです。なつちゃんとわたしの出番が回つてくると毎回「坊主！ 坊主！」お決まりの坊主コールが鳴り響きました。どうしようもなくて、ただなつちゃんの言う方を引きました。

## 新春ライブ、特別な夜

みゆ

すると札は……殿。みんなからは「あー」という失意の声。若干申し訳なさもありましたが、最後まで逃げ切ることができました。獲得点は、二百五十五点。散らしどりで大敗した分を取り戻すくらいの点数を、坊主めぐりで稼ぐことができました。なつちゃんが坊主から守つてくれました。なつちゃんが勝利の女神様のようでした。

新年からたくさん笑つて本気で遊んだ百人一首でした。次はちゃんと和歌を覚えて、もっと取れる札を増やしたいな、と思います。楽しみです！



不思議な妖術で、姿は人間のまま、人間をやめて「ねこ」になります。「ねこさんは、ねこのまま過ごしていくのでしょうか？」この質問に、お父さんは、「理解が浅いですね……」と。「ねこが何もしていないと思つているから、こういう質問になります。ねこは、掃除や洗濯、食器洗いはしていないけど、誰かのそばにおりそい、その人を理解しようと、癒し、癒され、そこで生まれる信頼関係が大切なんだ。十分ねこはねことして役にたつている。だから、答えは決まっています。だから、答えは決まっています。ねこはねこを続けます」

実はこの質問は私がしたものでした。私は、自分が恥かしくなりました。どこかで、仕事をするひと、動き続ける人、何かのトップにいる人だけが、世間で認められると思っていました。そ

り、二人が顔を見合わせてにつくなり。皆の歓声と拍手でリビングがあつという間にコンサート会場になりました。「わあ～始まる～」今回のライブは三部構成になつていて、第一部は皆の質問にお父さんお母さんが答えるながら、歌も歌ってくれます。第二部は、ユカ

まずは第一部スタート!!! 質問は、コンサート、日常のこと、不老不死についてのことにわかれています。

ひとつの質問はコンサートの中で登場した、ねこさんに関する質問でした。コンサートでは、じゅりという女の子が、手相見妖怪の

新年があけて、二日目の夜。楽しみだった、この日がやつてきました。お父さんお母さんのライブの日です。どんな質問に答えてくれるんだろう、どんな歌を歌つて

くれるんだろう。どんな未来へのメッセージを伝えてくれるんだろう……。ドキドキドキ。もうすぐ始まる……。リビングの明かりが薄暗くなり、スポット

ライトがお父さんとお母さんの席を照らしました。集まつた皆の顔が、今か、今かときらきらしていって、部屋は熱氣でいっぱいになっていました。そこに、お父さん、お母さんが登場。いつものお父さんとお母さんなんだけど、今日はなんだか、一段と輝いて見えました。お父さんの手にはギターがあり、二人が顔を見合わせてにつくなり。皆の歓声と拍手でリビングがあつという間にコンサート会場になりました。「わあ～始まる～」

は、コンサート、日常のこと、不老不死についてのことにわかれています。

ひとつの質問はコンサートの中で登場した、ねこさんに関する質問でした。コンサートでは、じゅりという女の子が、手相見妖怪の

(前ページからの続き)

「こさん」の存在は、今後たくさんの人々の胸に残つていくと思いま  
す。



その後もたくさんの方の質問にお答えいたしました。「そういうことだったのか」とたくさんの方の発見もありました。間に歌もたくさん歌つてくださいました。そして、「次はこれいくね……」とギターで始まつた曲が『なごり雪』でした。私は、「わあ～」と思わず声がでてしまいまして。ずっとずっとずっとときだつた曲で、今回自分がリクエストさせてもらつた曲でもありました。

歌詞とともに、お父さんの声が胸に響き、自然と涙がでてきました。実は今日、風邪気味で声がないぐらい、聞いて本当に、シワセで、胸がいっぱいになりました。お母さんも一緒に歌つてくれていて、そのハーモニーがたまらませんでした。歌だけで、こんなに感動することがあるんだ……。『心の旅』という曲も聞くことができて、またまた涙が止まりませんでした。二曲とも、旅立ちを意味する歌詞など感じ、それをお父さんお母さんの歌で聞けた。



今までたくさんの人を救ってきたんだと思います。どこまでも誰かのために、気持ちをもつているお父さんが本当にかつこいいなと思いました。そして、お父さんが不老不死だとしたら、その隣にはやつぱり、ずっとずっとお母さんのがいてほしいと私は思いました。

びつたりで、お父さんがその子たちのことを考え、本当に理解しているんだなと感じました。

第二部分

く、そんな希望をもつた子には、「開拓者」という表現だつたり今からさらに自分のレベルをあげようとしている子には、「音階のように成長していく」ということ。これから自分の道しるべをしあげて下さっているように感じました。よいことも悪いことも、はつきりと伝えてくれて、でも、最後には背中をおしてくれるように思いました。葉をくれる。お母さんの強さと優しさそのものだと感じました。上いのあとにお父さんが贈つてくれれる歌も、占つてもらった子たちにぴったりで、お父さんがその子たちのことを考え、本当に理解しているんだなと感じました。

はなファミリーは、誰も教えてくれなかつた大切なことを、伝えてくれる場であります。たくさんの卒業生が、自分の症状と戦つて、その戦いに勝つて、治り続けています。今のその事実だけでもお父さん、お母さんは、十分に利他心にあふれた世界を作つていてようを感じます。でも、目指すものはもつともつと広い世界でした。お父さんが展望を話してくれました。

「ただ治るだけじゃない、能力も年齢も関係なく、症状で苦しんでいる人ならだれでも受け入れて、

うと思つていた自分たちに、症状から逃げられない自分たちに、生きる意味、希望、誰かを思うことの大切さを教えてくださいました。笑うことができるようになつて、苦しさに泣くのではなく、うれしさや感動で涙を流すことができるようになりました。皆と一緒に作り上げること、だめな自分で一生懸命やることに意味があつて、その先には、絶対に答えがあること、あきらめない限り、自分を理解してくれる人がいることを教え続けています。お父さんお母さんが築きあげてきたのはなファミリーは、誰も教えてくれなかつた大切なことを、伝えてくれる場でもあります。たくさん卒業生が、自分の症状と戦つて、その戦いに勝つて、治り続けています。今のその事実だけでもお父さん、お母さんは、十分に利他心にあふれた世界を作つていてうに感じます。でも、目指すものはもつともつと広い世界でした。



(前ページからの続き)

その人たちが働く場所にしていきたい。病院もレストランも、農業も共存して、皆で助け合って生活をしていく場所にしていきたいたい。症状に苦しんでいる人にも生きる希望をもつてほしい。そんなソーシャルフィールドを作つていきたい」

私はそのことばに、

「やつぱり、お父さんお母さんはコンサートのなかでもあつたように、社会を変える人。本当に、苦しんでいる人のことを、症状の中で、生きづらい人のことを思つてくれている。利益とかじやなくて、利他心にあふれて、今の世の中にない考えをもつている」

と、感じました。毎日毎日、誰かの相談にのつて、どうしたら、症状に負けないかをその場で伝えください。時には厳しい言葉で、すべては症状と戦う自分たちのため。厳しい反面、本当に、そこの子のことを思つて、自分を誰よりも理解してくださいます。

感謝の気持ちでいっぱいです。お父さん、お母さんが並んで、座つてのこと、いつも話していることばひとつが大切です。一緒に考えて、どうしたらよくなる

かを伝えてくれることが、本当に幸せなことだと思います。ライブの最後のアンコール曲は『ヒーロー』。私のヒーローは間違いなく、お父さんお母さん。ぴつたりの歌だと思いました。

本当に三時間半があつという間でした。ただただ胸がいっぱいになりました。もっともつと聞いていたいし、この空間で皆と一緒にいたいと思いました。

本当にシアワセな時間をありがとうございました。

## ちぎり絵で自画像を

### つばめ



みたいな作品でした。顔の周りには、花や葉っぱのように紙がちりばめられていて、画面は白色をしているけれど、そよ風の吹くお花畠みたいでキレイでした。

### 遊び心

お父さんお母さんの作品も印象に残っています。

お父さんの作品は、アウトラインを紙を貼り付けて作るのではなく、アウトラインの周りを縁取るようにチラシや雑誌で色彩豊かに表現していました。

お父さんの自画像を作る上では欠かせない角刈りヘアスタイルは、赤色一色・食べ物一点で統一されています。

顔の部分も緑や黄色など、肌色に囚われない遊び心があつて、流石お父さんだなと思います。

お母さんも新聞紙のみを使っていて、モダンでエレガントな作品になっていました。

耳の部分には耳掃除の切り抜きが張られているなど、自由な発想が面白いなど感じました。

私は、絵を描くことは大好きだけれど、ちぎり絵をしたことはな

お正月の三日目。  
午前に、私たちは「ちぎり絵」をして楽しみました。  
作品のテーマは、「自分の似顔絵」です。  
新聞やチラシ、雑誌を材料にして、それらを千切つて、画用紙にして、生きづらい人のことを思つてくれている。利益とかじやなくて、利他心にあふれて、今の世の中にない考えをもつている」

かを伝えてくれることが、本当に幸せなことだと思います。ライヴの最後のアンコール曲は『ヒーロー』。私のヒーローは間違いなく、お父さんお母さん。ぴつたりの歌だと思いました。

本当に三時間半があつという間でした。ただただ胸がいっぱいになりました。もっともつと聞いていたいし、この空間で皆と一緒にいたいと思いました。

本当にシアワセな時間をありがとうございました。

（次ページへ続く）



一方で、大きく千切ると、角が  
めに千切るかで作品の印象が変わ  
ることを学んで、細かくちぎるほ  
ど曲線が滑らかに描けて、色使  
いも複雑化出来るため、「磨りガラ  
ス越しにみた人の顔」というミス  
テリアスな印象の作品や、柔軟性  
のある作品が作りやすいと感じま  
した。

(前ページからの続き)  
われた作品になりました。  
ですが、出来た作品の展覧会を  
して、みんなの作品を見ていく内  
に、「こういった紙の使い方があつ  
たのか」と、たくさんの発見があ  
りました。



ついで、明暗のはつきりした作品  
が仕上がると思いました。

みんなの作品からインスピレー  
ションが湧いてきて、またちぎり  
絵をする機会があつたら、より遊  
び心のある作品作りをしたい！

と、創作意欲が湧いてきました。

作る過程でも、見る段階でも、  
自分自身の情緒を深めて、お互  
いを知る大切な時間になつたと感じ  
ます。

遊びを通して、成長の機会を頂  
けたことが、とてもありがたくて、  
楽しかつたです。

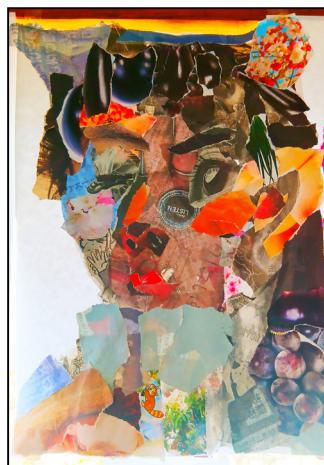
## ——こんな作品ができました——



つばめちゃんの自画像



さとみちゃんの自画像



ほのかちゃんの自画像

お父さん、お母さん▶



◀古吉野なのはなには、水戸のおばあちゃんの  
ちぎり絵が飾られています





豆つかみ大会の遊びは、お正月三が日、三日目の遊びは、豆つかみ＆福笑い笑点！この二つの遊びの実行委員をさせてもらいました。

なのはなのお正月には恒例の豆つかみ、福笑い。そこに、あたらしい「笑点」の要素が加わって、いつたいどんな大会になるので

しょうか……？

まずは、豆つかみ大会。二分内にどれだけ多くの豆をお箸でつまんで、ペットボトルに貯蓄できるかを競います。リビングの中央につくつた直径二メートルの円のなかに四種類の豆類を広げ、中心にペットボトルを立てます。円の外側から、円の中の豆をつまみ、腕を伸ばして中心のペットボトルに

豆を入れます。

ペットボトルに入った豆の総量

がそのまま、チームの点数になります。今年は新しく、銀杏も登場

し、ニューフェイスなど、一粒

が重いこともあり、どのチームも

銀杏一本狙いでした。

銀杏は、大きくてつまみやすそ

うだけれど、実際につまんでみると、絶妙に湾曲しているフォルム

が滑りやすくて、力がいれにくく、

どの豆よりも、つまむ難易度が高いです。箸でつまもうとして、ツ

ルツルと滑っている光景が、箸から銀杏が逃げているようにも見え

て、少し可愛かったです。



## 豆つかみ大会の開催・ミニ山田君登場！福笑い笑点

りな



ムが進んでいきます。どのチームも、一回戦目より二回戦目、と豆のグラム数を上げていていました。苦手なチーム、得意なチームの差がほとんどなく、どのチームも接戦でした。

点数が拮抗している中、勝敗を大きく決める次のゲームは『ギャンブル豆つまみ』です。ここで、またニューフェイスの唐辛子が登場。中心に色違いの五つのペットボトルを立て、赤ペットには小豆、青ペットは黒大豆、というように、それぞれのペットボトルに入れる豆が指定されています。けれど、入れた豆のすべてが点数になるわけではありません！試合終了と共に、色くじを引き、引いた色のペットボトルの得点のみが点数になる、というルールです。

さらに、ノーマル戦では、どつた豆の重さが点数になつたけれど、ギャンブル豆つまみでは、豆の数が得点になります。豆の種類によつても点数が違います。

最後のゲームはおまけで、ボーナス点をかけた『グラム当てゲーム』をしました。

中心に一つペットボトルを置き、一分の時間の中で、ペットボトルに豆を入れ、百四十グラムになるべく近づけたチームに得点がります。

それだけではなく、たけちゃんともちーちゃんも参戦。大人が集めた豆とプラスで、子供たちが集めた豆も、グラムに加算されます。たけちゃん、ちーちゃんが集めた豆がどのくらいの重さがあるか感じながら

沸き起こりました。五本中三本のペットボトルに豆を入れたチームは、くじでなんと空のペットボトルを引いて、〇点になつてたり、堅実に五本のペットボトルに全て豆を入れたチームは、二回戦とも着実に得点を積み上げていて、一気に得点の差が開いていました。

チームによって、まるきり違う作戦を立て、持つている運も違つて、バリエーション豊かで、見えてとても楽しかつたです。

### ■目指せ百四十グラム

(次ページへ続く)

大人たちは計算をしている中で、子供たちは、計算をせず、せつせと手を動かして、片手に持つた猫ちゃんペットボトルに豆を次々に入れていきます。そんな子供達の姿が、とても健気で、応援した



くなるぐらい可愛かつたです。

同じチームのみんなは、たけちゃんが持つペットボトルに豆がどんどん溜まっていく光景を見て、目標のグラムからオーバーしてしまわないかとどぎまぎしていました。

ます。かたや、他チームは、オーバーさせようと言わんばかりに、子供達を激励し、応援します。たけちゃん達が、たくさんのみんなが応援してくれることに、とても嬉しそうで、堂々としている姿を見て、私達まで、温かい気持ちに

なりました。

ら、集める必要があります。

誤差二十グラムまでに収めれば、ボーナスポイントが入ります。どのチームも、計算をして、豆を何粒入れるか作戦を立ててから試合をしているようでした。

これまでの豆知識は、どちらかと言えばスポーツ系で、スピーディが命でした。けれど、この数あてゲームは、頭脳系の、慎重に豆を入れているチームばかりでした。



司会は、お父さん。そして、座布団を運ぶのは山田たけひろくん。たくさんのお客様に囲まれながら、青いかっこいいはかまを着て、誇らしそうにいる小さな山田君が、本当に可愛かったです。

本物の笑点と同じように、各チームから代表一人が前に出て、座布団に座ります。最初はどの

『笑点』をすることになつたきつかけは、たけちやんでした。たけちやんが、笑点が大好きで、夏の間からずっと、たけちやんが笑点ごっこをしている姿を見てきました。お正月は、なのはなのみんなと笑点がやつてみたい！たけちやんの大きな希望があつたことについて実現することができまし

豆つまみの後は、福笑い笑点！  
今年新たに、実験的に取り入れ  
た新しいゲームです。

## ■座布団持つてってーー

像以上に、重さを読むのが難しいんだなあと思いました。たけちやんとちーちにも、楽しんでもらお

答えに沿つた顔を作る福笑いの楽しさもあれば、他チームが作つた顔の面白い答えを考える笑点の面白さも兼ね備えたゲームでした。

す。お題は、前に貼られた馬の台紙に顔ペーツを貼つてできた顔が、何を物語つているか、といふもの。その答えが、正解と近かつたり、面白かった時に、司会のお父さんジャッジで座布団がもらいます。

A group of people, including children and adults, are sitting on the floor in a room with bookshelves. They are smiling and laughing, creating a joyful atmosphere. The room appears to be a library or a study area.

す。座布団の厚みもケーブルが展開していくうちに差が開いていきました。

ゲームを始める前は、みんな黙り込んでしまったらどうしよう、しらけてしまったたらどうしよう……と少しの心配はあつたけれど、心配には及ばず、終始、笑い声で溢っていました。

お題の馬の表情は、各チーム三回ずつ、五人で作りました。お題

を見たら、話し合いなしに、言葉

けません。顔パーツは、全部で合  
わせて五十種類ぐらいあり、バリ

エーションが豊富です。その中か  
（次ページへ続く）

(前ページからの続き)  
ら、一番お題にぴったりなパートを選んで、貼ります。

パートの組み合わせも、重要な位置によっても、見え方が全然違つて、再現できる幅は無限大でした。また、顔パーカーを使って、お題に出てくる虫をつくったり、足を作つたり、ビックリマスクを作っているチームもあって、作っている過程や、出来上がつた顔を見るだけでも、楽しかったです。



楽しい空気感を作つてくれたからだなあとと思いました。

実行委員として、楽しませる側として準備を出来た機会が、学ぶことがたくさんありました。何が楽しいのか、どこに面白さがあるか、分かったうえで、プランを緻密に立てることが、とても大切なんだなあと知りました。間やテンポ、導線……ほんの小さなディテールに、楽しいものにできる

なかなか解答と同じ答えを言った文章でした。例えば、解答が「お茶だと思つて飲んだら、お酔だつた」とすれば、問題は「( )だつて飲んだら、( )だつた」としてみんなに提示します。

お題の解答は、かつて埋めました文章でした。例えば、解答が「お茶だと思つて飲んだら、お酔だつた」とすれば、問題は「( )だつて飲んだら、( )だつた」としてみんなに提示します。

結果は、座布団十一枚の、お母さんチームが優勝でした。小さな山田君が、笑点に忠実に、十一枚目から座布団の色を変えていました。座布団が積み上がる光景は、目にも新鮮で、豊かに見えました。

## ミラクル・チャレンジ！ 新春セブンブリッジ大会

### みつき

●みんなで  
楽しめますように！

●みんなで

わたしは複数の物事を考え、まとめていくのは苦手です。でも、いつも誰かが傍に居てくれて、力を貸してくれました。

セブンブリッジの実行委員の仕事は、紅白歌合戦の練習やおせち作りと並行して考えなければいけませんでした。

と話してくださいました。

わたしは、セブンブリッジ大会の実行委員を務めました。ゲームを行なうのは元日の夜と、三日目二回。二日間にわたるセブンブリッジを、どのようにして楽しくするか……。今回ならではの

新しい年の運だめし!? 新春セブンブリッジ大会が開催されました！

お父さんが、父さんに相談させていただきました。

わたしは、セブンブリッジ大会の特別ルールや罰ゲームなど、お父さんに相談させていただきました。

「特別ルールというのは、大きな点数差が出て、最下位が確定した

それぞれのリーグ表のイラストを、みゆちゃんとは、地獄の十王のイラストを描いたのですが、調べてみると、どのような姿をしていたのかが参考にできませんでした。結



(前ページからの続き)

果、着物は好きな色を塗つたり、ひげを生やしてみたり、ふたりで想像して、遊びながら色塗りをしたのが、とても楽しかったです。そして、ひとつ印象的な瞬間がありました。

セブンブリッジが始まる前、わたしは、「みんなが楽しめるだろうか」と、緊張を感じていました。

まもなく近づいてきたあけみちゃんが、「ああ！ 緊張する！」と声をかけてくれました。

その言葉を聞いて色々な感情が湧いてきました。いつもみんなの前に立つて、リーダーシップを取りってくれているあけみちゃんも

二日目になると、テーマは『天国』へと変わります。特別ルールを設けた、二時間半の本格セブンブリッジが始まりました。

特別ルールとは、『ミラクル・

ペットボトル・チャレンジ』。一

回のゲームでマイナス六百点以上の失点をしてしまった人が挑戦できるものです。水が入った三つのペットボトルのうち一本を選んで、振った時に水の色が変わったら、得点が三倍になるチャンス

を獲得できます！ これは、コン

サートでも披露した『ザ・ミラクル』のダンス中のマジックを応用したアイデア。

色が変わるのか、変わらないの

緊張するのだなあと感じたこと

と、あけみちゃんが同じ気持ちで居るんだと思ったとき、ふと安心することができました。同じよう

に「成功しますように」と願つて、緊張している、そんな存在があつたから、一緒に超えていこう、一緒に頑張ろうと思えました。

## ■罰ゲームは実行委員で

セブンブリッジ大会の一日目のテーマは『地獄』。一時間のプチセブンブリッジで、シンプルにゲームを楽しみました。

二日目になると、テーマは『天

国』へと変わります。特別ルールを設けた、二時間半の本格セブンブリッジが始まりました。

特別ルールとは、『ミラクル・

ペットボトル・チャレンジ』。一

回のゲームでマイナス六百点以上の失点をしてしまった人が挑戦できるものです。水が入った三つのペットボトルのうち一本を選んで、振った時に水の色が変わったら、得点が三倍になるチャンス

を獲得できます！ これは、コン

サートでも披露した『ザ・ミラクル』のダンス中のマジックを応用したアイデア。

色が変わるのか、変わらないの

か、見てもドキドキしました。「色が変わった！」と飛び跳ねて喜んだり、そのまま変わらなくてショックを受けていたり……

(笑)。みんなのリアクションが嬉しかったです。

実行委員をしながら、みんなと一緒にゲームに参加することができました。白チームで、しなこちゃんとペアで戦いました。はじめのうちは上がることができなかつたのですが、どんなときもしなこちゃんが穏やかに居てくれたので、「大丈夫だろう」と安心することができます。

しかし、安心していくはいけない状況がありました。白チームは、一日目の総合結果で最下位。どうしても勝たなくてはいけないんだ！

速報が伝えられました。オレンジチームのまことちゃんが五千八百点の失点!? 同じリーグで戦つていた、オレンジチームのももかんたちが、

「もう腹をくくるしかない……」と静かにつぶやきました。その姿を見ながら、そうだよね、これしてくされました。そのときは何度も上がることができて、たけちゃんのパワーを感じました。

「面白かった。次からもこの罰ゲームで行こう」

と言つてもらうことができました。

新春セブンブリッジ大会、大成功!! 二〇二六年、セブンブリッジで自分の運を知り、表現力を磨き、みんなで楽しみながらレベルアップしていくぞ!



点。なんでー!!

順調に進んでいたゲーム、ひとつだけ予期しなかつたのは、実行委員の居る白チームが最下位だったこと……。

すにたちやんたちが作ってくれた枠の前に立つて、引いたお題を、顔だけを使って表現しました。まさか、自分がここに立つことにならなんて。

わたしが引いたお題は『マグロから逃げるトビウオ』。トビウオってどんな魚だつたろう……でも、もう『逃げるトビウオ』を、逃げずにやるしかない!!

お父さんと考えた罰ゲームをやってみせる側になってしまったけれど、みんなが笑つてくれて、面白かったです。次からもこの罰ゲームで行こう



かというと、なんとマイナス五千

# —ダイジェスト写真館—



たくさんの方々よりご支援をいただき、成功したwinterコンサート。一人ひとりが成長することができました



3人の女の子が、摩訶不思議な妖怪たちと出会い、誰もが幸せに生きられる方法を知るための旅へ出ます



よしぇちゃんと恵平さんをお祝いした日

福笑い笑点をしました！

中山神社の方々による獅子舞！



思い切りはっちゃけた、紅白歌合戦

チームで遊びを企画・進行しました

台に乗せたい！ 独楽回し